

大磯中学校特別教室等空調設備整備工事

I

建築改修工事仕様

1

質問回答書、現場説明書、特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」
（以下「改標仕」という。）、「公共建築工事標準仕様書（最新版）」（以下「標仕」という。）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築物解体工事共通仕様書（最新版）」
（以下「解体共仕」という。）による。

2

特記事項

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と⊗印が付いている場合は、共に適用する。
3）特記事項欄の行末に記載の（ ）内表示番号は、木標仕の該当事項又は該当表を示す。

章

項目

特記事項

1

一般通事項

①適用基準等

②概成工期

③電気保安技術者

④発生材の処理等

⑤材料の品質等

6技能士

⑦特別な材料の工法

⑧施工中の環境保全等

◎建築工事標準詳細図
※工事写真の撮り方
◎公共建築工事標準仕様書
◎公共建築改修工事標準仕様書
工事期限より_____日前
・電気主任技術者 ※監督職員 の承諾を受けた者 (1.3.3)

種別	対象品目
◎発注者へ引渡しを要するもの	※PCB含有機器類 ※PCB含有シリング材 ※微量PCB ・協議が必要な場合
◎再利用を図るもの ・再資源化を図るもの(注1)	※コンクリート塊 ※建設混合廃棄物 ・硬質ポリ塩化ビニル管・継手 ※アスファルト・コンクリート塊 ※金属類 ・ガラス ※建設発生木材 ※小形二次電池 ※建設汚泥 ・蛍光ランプ・HIDランプ
・処理に注意を要するもの	・ヒ素・カドミウム含有せっこうボード ・せっこうボード ・0.1%を超えて石棉を含有するもの ・CCA処理木材
・特別管理産業廃棄物	・廃石棉(除去作業に使用した保護具及び養生材を含む) ・廃酸、廃アルカリ ・ダイオキシン含有廃棄物 ・廃油
・特殊な建設副産物	・フロン ・ハロン ・特定化学物質（ ） ・煙感知器(イオン化式) ・六フッ化硫黄(SF6)ガス ・PFOS

(注1) 上記以外の廃棄物についても、可能な限り再資源化に努めること。

1.本工事に使用する材料・機材等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。
2.「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。
3.本県に本社、支店、営業所を有するメーカー製品を使用すること。
4.化学物質を放散する建築材料等
1)建材・施工材の使用材料の選定においては、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、放散が十分少ないものをJISまたはJAS等を参考に適切に選択すること。ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とし、該当する材料等がない場合は、施工面積に十分注意した上でF☆☆☆☆を使用する。
2)接着剤はホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物を放散しないか、発散が極めて少ないもの、または含有量が少なく難揮発性の可塑剤を使用しているものとし、ホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆を原則とする。
3)仕上塗材、塗料、シーリング材、接着剤その他の化学製品の選択及び取扱いに当たっては、当該製品の製造所が作成した化学物質等安全データシートの内容を把握するとともに、現場に常備し、記載内容の周知徹底を図ること。
4)施工中、接着剤・塗料等の塗布に当たっては、使用方法や塗布量を十分に管理し、適切な乾燥時間をとること。また、施工時、施工後の通風、換気を十分に行之い、室内に放散した溶剤成分等の希釈を図ること。
5.本工事に使用する材料については、JIS Z 7253（GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS））による安全データシート（SDS）等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

工事種別	技能検定職種	技能検定作業
・仮設工事	とび	とび作業
・防水改修工事	防水施工	アスファルト防水工事作業 ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 アクリルゴム系塗膜防水工事作業 合成ゴムシート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シーリング防水工事作業 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 FRP防水工事作業
・外壁改修工事		左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業) 樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業) 塗装(建築塗装作業)
・建具改修工事		サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ガラス施工（ガラス工事作業） 自動ドア施工（自動ドア施工作業）
・内装改修工事		内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業 カーペット系床仕上作業 ボード仕上工事作業 鋼製下地工事作業） 表装（壁装作業）
・塗装改修工事		塗装（建築塗装作業）
・排水工事	配管	建築配管作業
・舗装工事	路面表示施工	溶融ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－作業
・植栽工事	造園	造園工事作業

(1.5.2)

章

項目

特記事項

9

化学物質の濃度測定

工事完成前に、ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の室内濃度の測定を行い、測定結果報告書を監督員に提出すること。(1.5.9)
また、測定の結果が、厚生労働省が設定した化学物質の室内濃度の指針値を超えた場合は、監督員と協議すること。
1.測定対象化学物質
2.測定対象室・測定箇所数 3箇所 ※ 図示
3.測定方法
1) 空気の採取
※ 拡散方式（ ※ 測定パッチ ・ パッシブサンプラー ・ パッシブガステューブ） ・ 吸引方式
2) 測定・分析は、厚生労働省が室内空气中化学物質の濃度を測定するための標準的方法として示した以下の方法によって行う。または、以下と相關の高い方法によって行うこともできる。
ホルムアルデヒド 高速液体クロマトグラフ法
揮発性有機化合物 ガスクロマトグラフィー質量分析法
工事施工途中における技術検査(「中間検査」)は下表を原則とし、監督職員と協議すること。(1.6.2)
工事写真等を電子データにより検査する際に必要となる機器の準備及び操作は受注者が行う。
1)新営工事

構 造	検 査 工 程
※延べ面積が500㎡を超えるもの	1.軸組完了時

2)改修工事
・躯体の改修及び補修が工事に含まれ、仕上げ工事により品質の確認が困難と予想される場合は、改修・補修工法の施工完了時に行う。
・屋根等の主要な工事部分について、工事施工中の仮設足場がなければ確認困難と予想される場合は、仮設足場撤去前に新営工事に準じて行う。
・発注者が必要と認めた工程(別途指示による)
1.受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。
1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。
2) 下請負者が大磯町の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。
3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。
2.受注者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用することとする。
1.施工体制台帳及び施工体系図
本工事を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請負契約を2週間以内に監督員に一部を提出する。また、施工体台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。
2.主要機器資材メーカー報告書
本工事において使用する主要機器資材メーカー報告書1通を監督員に提出し、通知する。
3.技能士報告書
本特記仕様書第1章第6項で技能士が適用された場合は、報告書1通を監督員に提出し通知する。
4.再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)
工事完了後「建設副産物情報交換システム」(COBRIS入力システム)により、入力したデータを提出する。
なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出とする。
5.施工計画書(監督職員の承諾を受けたもの)
工事期間中に提出した施工計画書を取りまとめ、完成時に成果品の一部として監督職員へ提出する。提出方法については監督職員の指示による。
1)工事の一時中止に係る計画の作成
契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
2)工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

⑪

工事の下請負

1.受注者は、下請負に付する場合には、次の各号に掲げる要件をすべて満たさなければならない。
1) 受注者が、工事の施工につき総合的に企画、指導及び調整するものであること。
2) 下請負者が大磯町の工事指名競争参加資格者である場合には、指名停止期間中でないこと。
3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。
2.受注者は、工事を下請負に付する場合には、可能な限り地元建設業者を使用することとする。
1.施工体制台帳及び施工体系図
本工事を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請負契約を2週間以内に監督員に一部を提出する。また、施工体台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。
2.主要機器資材メーカー報告書
本工事において使用する主要機器資材メーカー報告書1通を監督員に提出し、通知する。
3.技能士報告書
本特記仕様書第1章第6項で技能士が適用された場合は、報告書1通を監督員に提出し通知する。
4.再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)
工事完了後「建設副産物情報交換システム」(COBRIS入力システム)により、入力したデータを提出する。
なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出とする。
5.施工計画書(監督職員の承諾を受けたもの)
工事期間中に提出した施工計画書を取りまとめ、完成時に成果品の一部として監督職員へ提出する。提出方法については監督職員の指示による。
1)工事の一時中止に係る計画の作成
契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
2)工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

⑫

報告書

1.施工体制台帳及び施工体系図
本工事を施工するために下請負契約を締結したものは、下請負業者と契約締結後全ての下請負契約を2週間以内に監督員に一部を提出する。また、施工体台帳及び施工体系図は工事現場に備えるものとし、現場表示も併せて行うものとする。
2.主要機器資材メーカー報告書
本工事において使用する主要機器資材メーカー報告書1通を監督員に提出し、通知する。
3.技能士報告書
本特記仕様書第1章第6項で技能士が適用された場合は、報告書1通を監督員に提出し通知する。
4.再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)
工事完了後「建設副産物情報交換システム」(COBRIS入力システム)により、入力したデータを提出する。
なお、データの提出が困難な場合は、監督職員の承諾を得た上で、紙による提出とする。
5.施工計画書(監督職員の承諾を受けたもの)
工事期間中に提出した施工計画書を取りまとめ、完成時に成果品の一部として監督職員へ提出する。提出方法については監督職員の指示による。
1)工事の一時中止に係る計画の作成
契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関すること及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。
2)工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

⑬

工事の一時中止

1)工事の一時中止に係る計画の作成
契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画「基本計画書」を発注者に提出し、承諾を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制

		図面名称	日付				図面番号
			特記仕様書1				A-02
		大磯中学校特別教室等空調設備整備工事	種別	数量	単位	備注	区分
			—			● ● ● ●	

2

仮設工事

項目

① 仮囲い

② 交通誘導員

③ 工事表示板

④ 足場その他

⑤ 養生

6 仮設間仕切り

7 監督職員事務所

⑧ 工事用水

⑨ 工事用電力

⑩ 工事用通路

11 その他の仮設

特記事項

仮囲いの位置及び延長は図示による。
・ガードフェンス (H=1800) ・波形鉄板 (H=) ・単管シート (H=)
・キタゲート (H= , W=) × 箇所
※ 配置する ・ 配置しない
※ 設置する

内部足場 ※ 脚立、足場板等 <2.2.1>
防護シート○ 設ける・ 設けない
材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 <表2.2.2>

足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

家具の移動 ・ 行う(図示) ○ 行わない <2.3.1>
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管 ・ 行う ・ 行わない
養生の方法
保管場所

・ 設ける(図示) ・ A種 ・ B種 ※ C種 <2.3.2>表2.3.1>

※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）・ 設ける（規模 m程度 請負者事務所と同様 ・可 ・否）<2.4.1>

構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

構内既存の施設 ○ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない

※ 指定しない ・ 指定する（図示）

3

内装改修工事

改修範囲

1 石こうボードその他ボード張り

特記事項

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁、床の改修範囲 <6.1.3>
※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う。
・ 図示の範囲
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※ 既存のまま
・ 図示の範囲

<6.13.2～3><表6.13.1><表6.13.5>				
種類又は記号	種別など	厚さ (mm)		規格番号
けい酸カルシウム板 (繊維強化セメント板) 0.8 F K又は1.0 F K		壁	・ 6 (不燃) ・ 10 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 5430 (タイプ2)
		天井	・ 6 (不燃) ・ 12 (不燃)	
グラスウール吸音ボード (吸音材料) G W－B	ガラスクロス (JIS A 3414 EP18程度) 額縁張り品		25 (不燃)	JIS A 6301 (32K)
ロックウール化粧吸音板 (吸音材料) D R	※ 内部用 ・ 軒天用	普通	・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃)	JIS A 6301
		立体模様	・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 19 (不燃)	
せっこうボード (せっこうボード製品) G B－R		壁	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)	
シーリングせっこうボード (せっこうボード製品) G B－S		壁	・ 12.5 (準不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (準不燃)	
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) G B－N C	トラバーチン模様 色 ※白 ・黄		・ 9.5 (不燃)	JIS A 6901
化粧せっこうボード (せっこうボード製品) G B－D	木目模様 木目模様（裏棧付き） 特殊模様	壁	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)	JIS A 6901
		天井	・ 9.5 (準不燃) ・ 12.5 (不燃)	
せっこうボードの目地処理 ・ 継目処理工法 ・ 突き付け工法 ・ 突き付けV目地工法 ・ 目透し工法				

4

環境配慮改修工事

項目

① 一般事項

② 除去工事共通事項

③ 石綿含有成形板の処理

④ その他

特記事項

石綿等の取扱については、石綿障害予防規則 (平成17年2月24日厚生労働省令第21号) (以下、「石綿則」という。)を遵守すること。 <9.1.1>
施工調査
・ 行わない。
※ 行う（調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。）
調査箇所 ※ 図示 ・ ()
調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位
※ 石綿含有建材等の種類、厚さ
※ 施工範囲と工事範囲区分
※ 廃棄物などの搬出方法
・
・
石綿含有分析 <9.1.1>
○ 行わない
・ 行う（分析結果は監督職員に提出する。） 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。

石綿粉じん濃度測定 <9.1.1>
・ 行わない。

専門工事業者 <9.1.2>
石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。
作業主任者の選出 <9.1.2>
石綿作業主任者技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したもののの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。
除去作業者の教育 <9.1.2>
作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。
特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 <9.1.2>
排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。

石綿含有成形板の除去工事 <9.1.5>
・ 行う（適用範囲 ・図示 ・)
・ 行わない

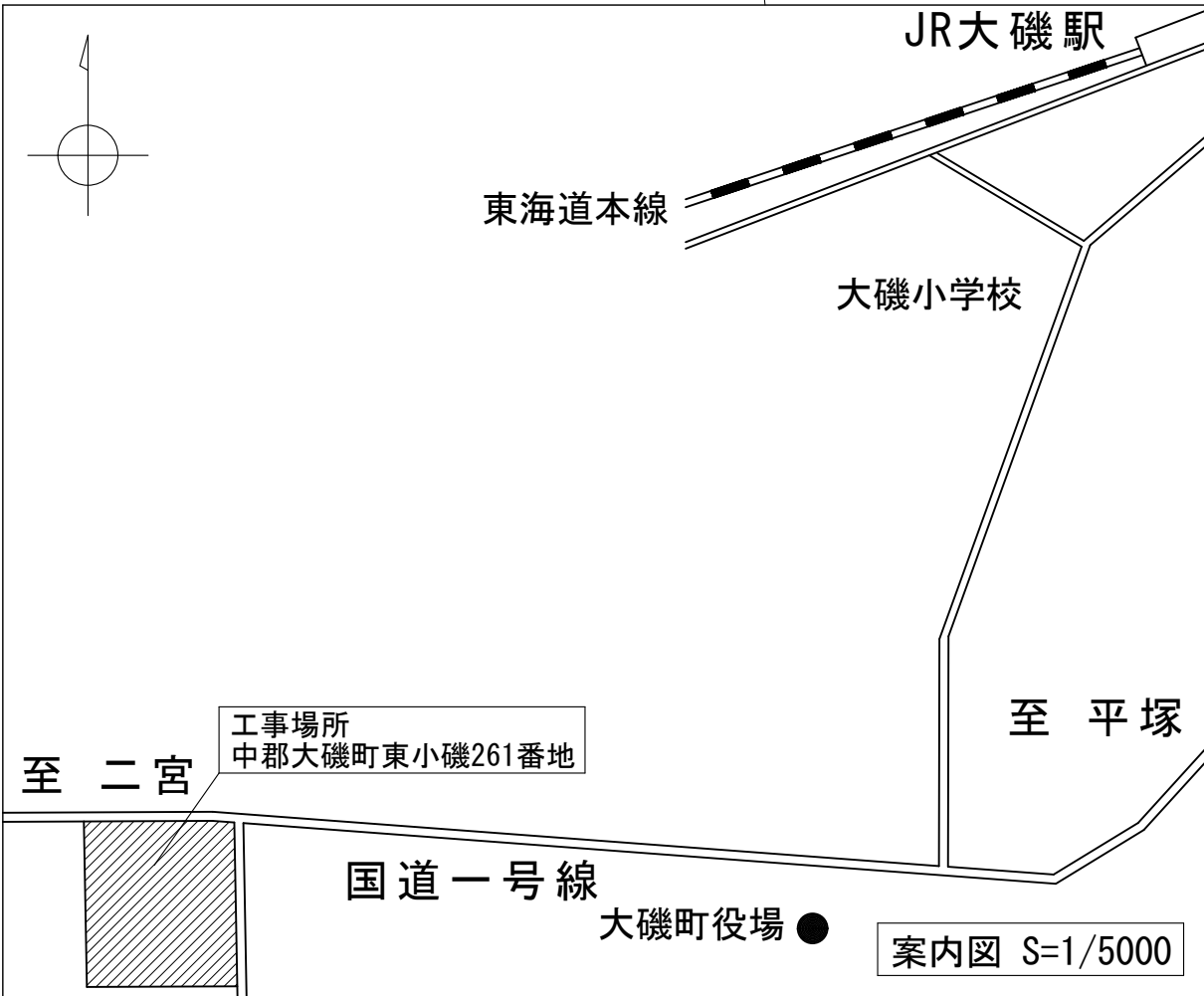
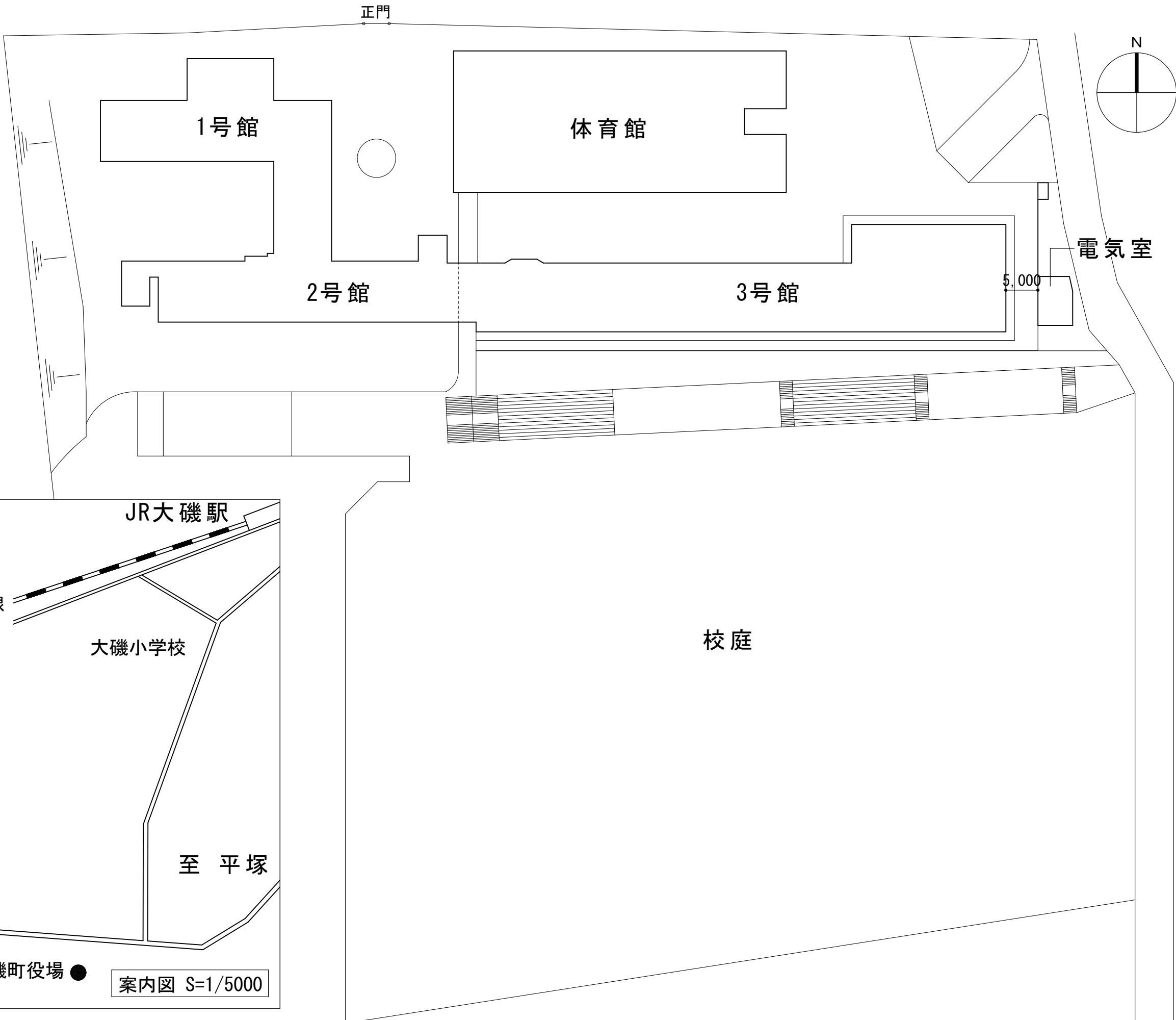
養生 <9.1.5>
※ 作業場は、養生シート等を用いて区画する。

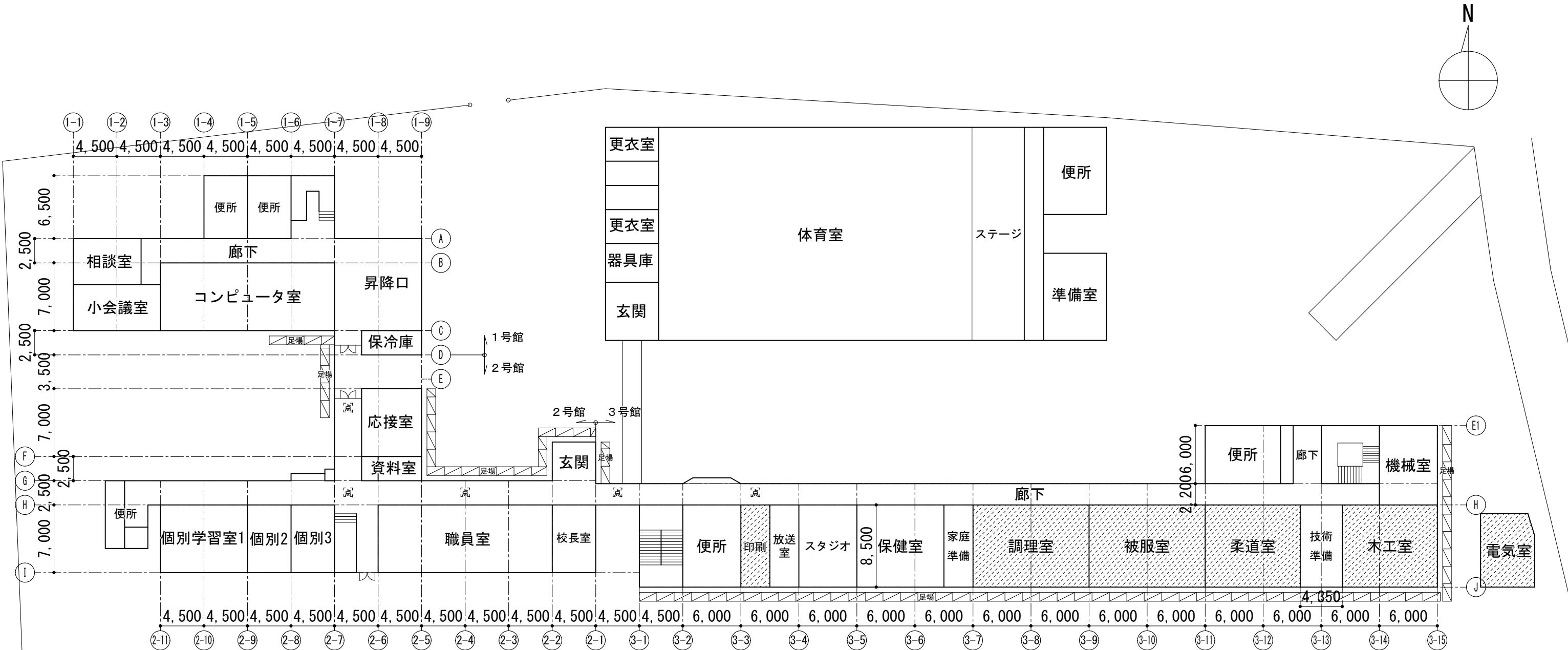
除去工法 <9.1.5>
※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。
※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。
※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

石綿含有材除去について
石綿含有する吹付材及び塗装材の面に設備用のアンカー等を設置する場合
粉じん飛散抑制剤を吹付し該当部を除去し粉じん飛散防止抑制剤を吹付すること。
除去物については、粉じんの飛散防止に努め、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。

	図面名称	特記仕様書2				日付	図面番号
	大磯中学校特別教室等空調設備整備工事						A-03
	種別	数量	単位	材料名	仕様	備考	
	—			● ● ● ●			

建物概要	
建物名称	大磯町立大磯中学校
所在地	中郡大磯町東小磯261番地
主要用途	中学校
敷地面積	28,816㎡
床面積	1号館1,193㎡ 2号館1,512㎡ 3号館3,180㎡
規模・構造	鉄筋コンクリート造 地上3階建て
工事概要表	特別教室等空調設備改修に係わる建築改修工事 電気設備改修工事 機械設備改修工事



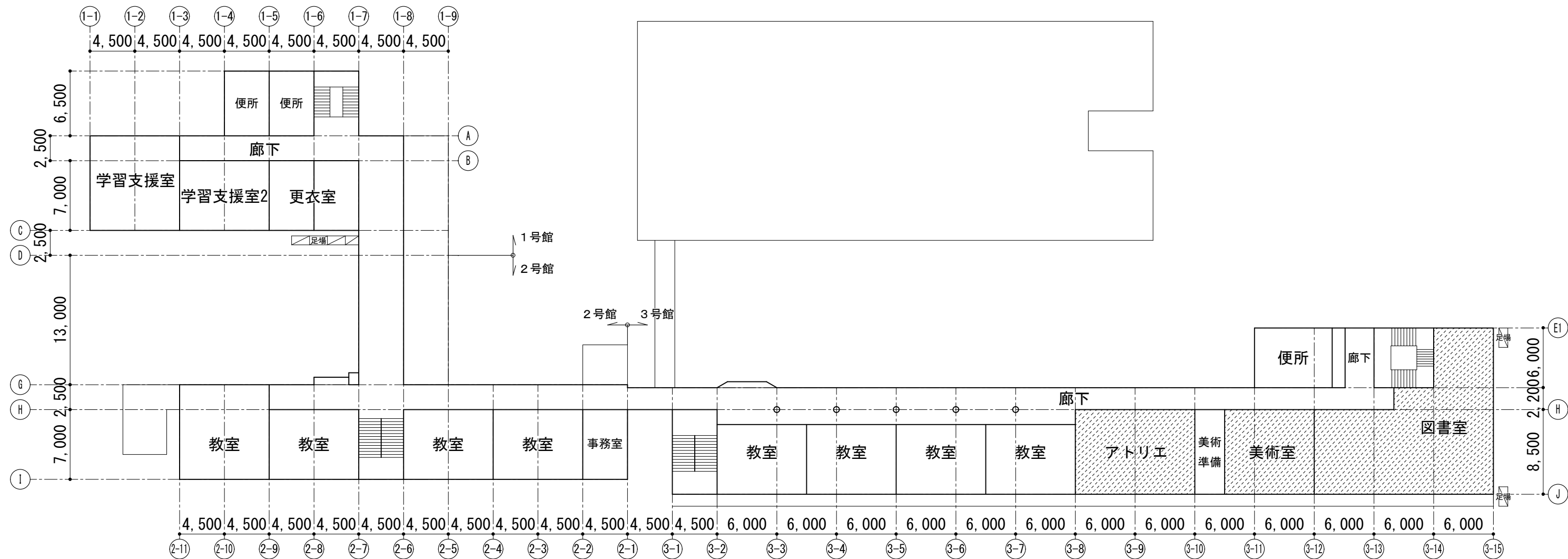
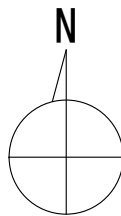


廊下天井仕上表

部位	仕 上
天井	吸音石膏ボードt9.5

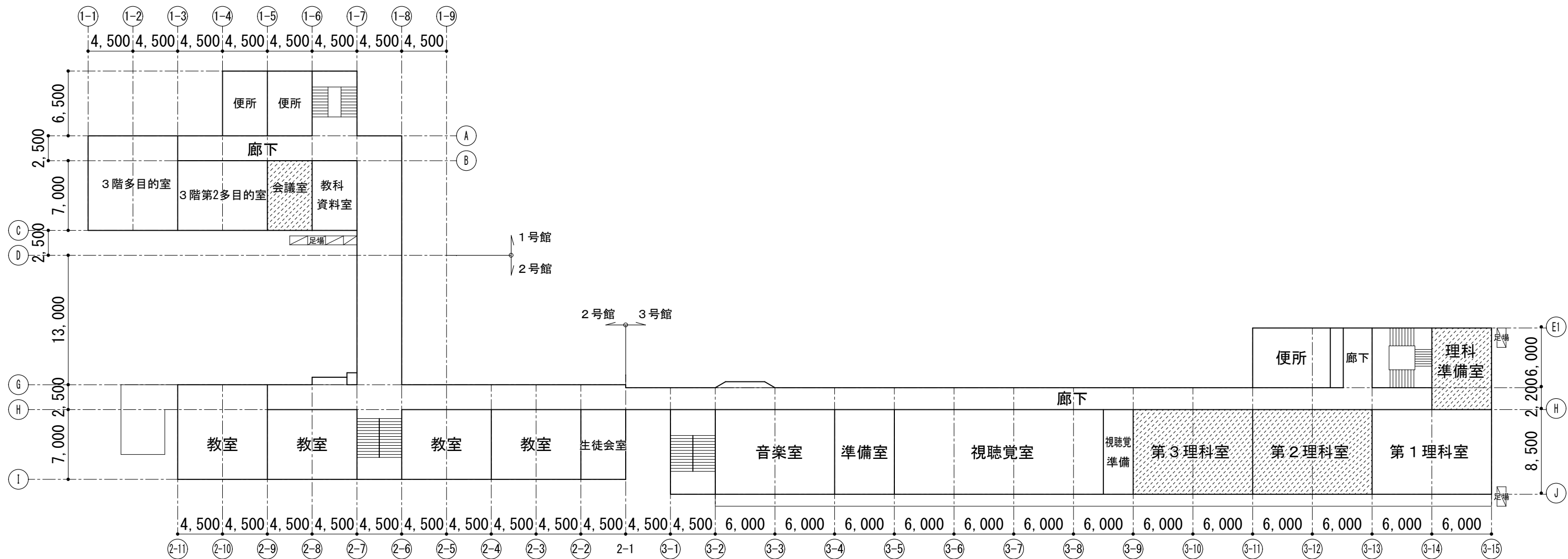
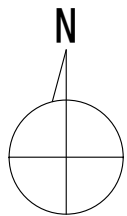
凡例

	工事対象室
	外部足場
	天井点検口450角(廊下)



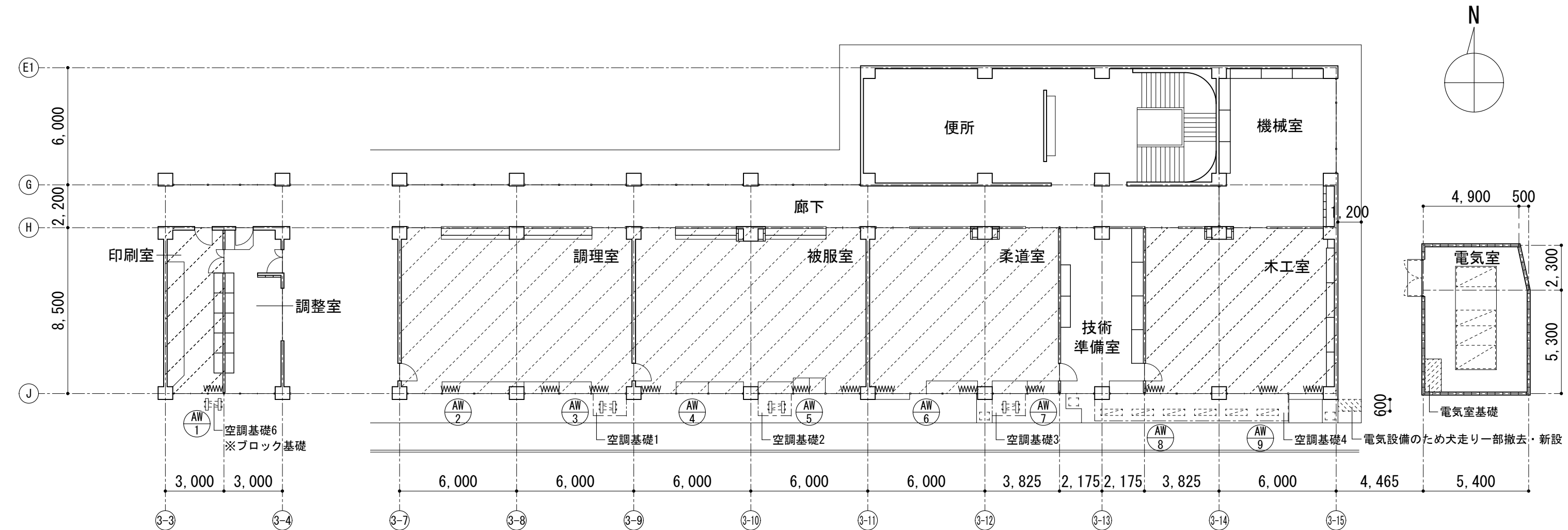
凡例

	工事対象室
	外部足場
	天井点検口450角(廊下)



凡例

- 工事対象室
- 外部足場
- 天井点検口450角(廊下)



印刷室、調理室、被服室、柔道室、木工室仕上表

部位	仕 上
壁	モルタルの上塗装
天井	吸音石膏ボードt9.5 岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)※柔道室、木工室

3号館外部仕上表

部位	仕 上
外壁	吹付材
軒天	吹付材

凡例
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

- 凡例
- 天井点検口450角
 - カーテン及びカーテンレール設置
 - ガラス撤去の上アルミパネル設置

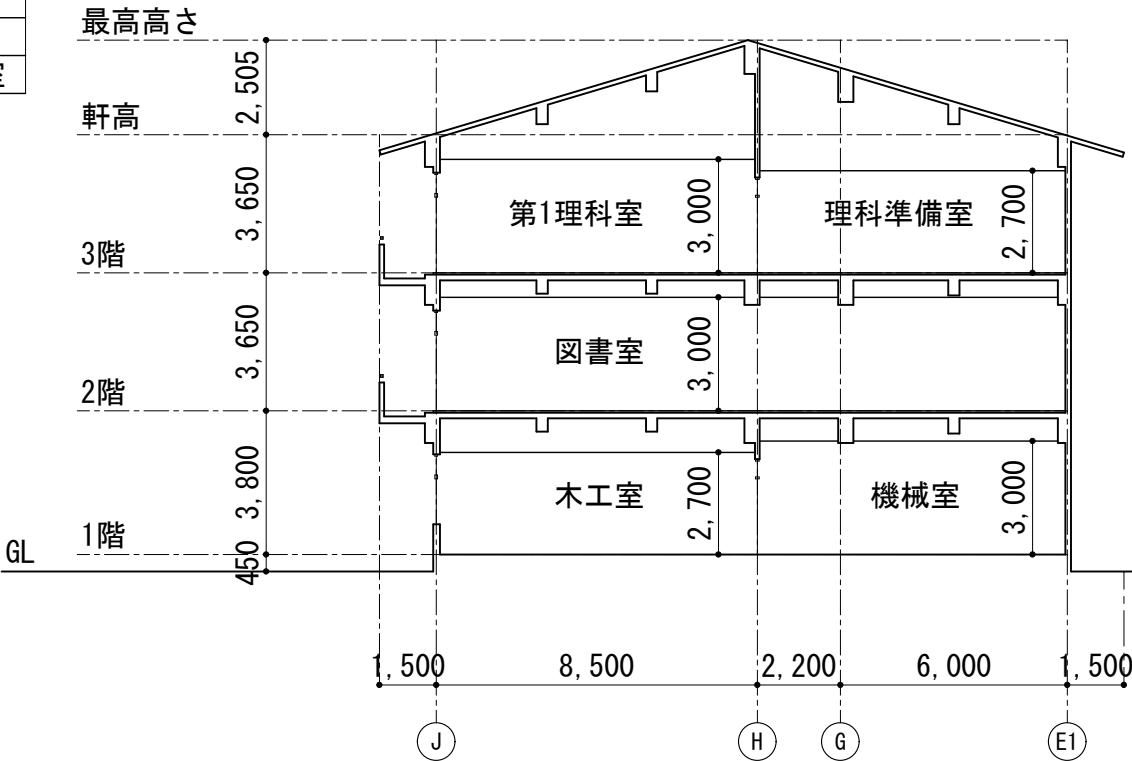
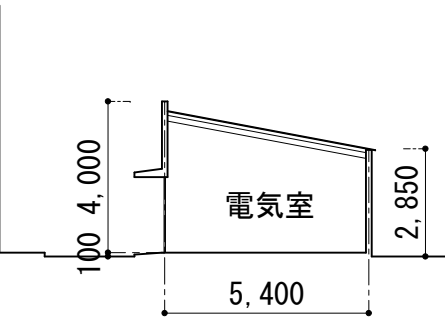
工事対象室

3号館1階部分平面図1/200

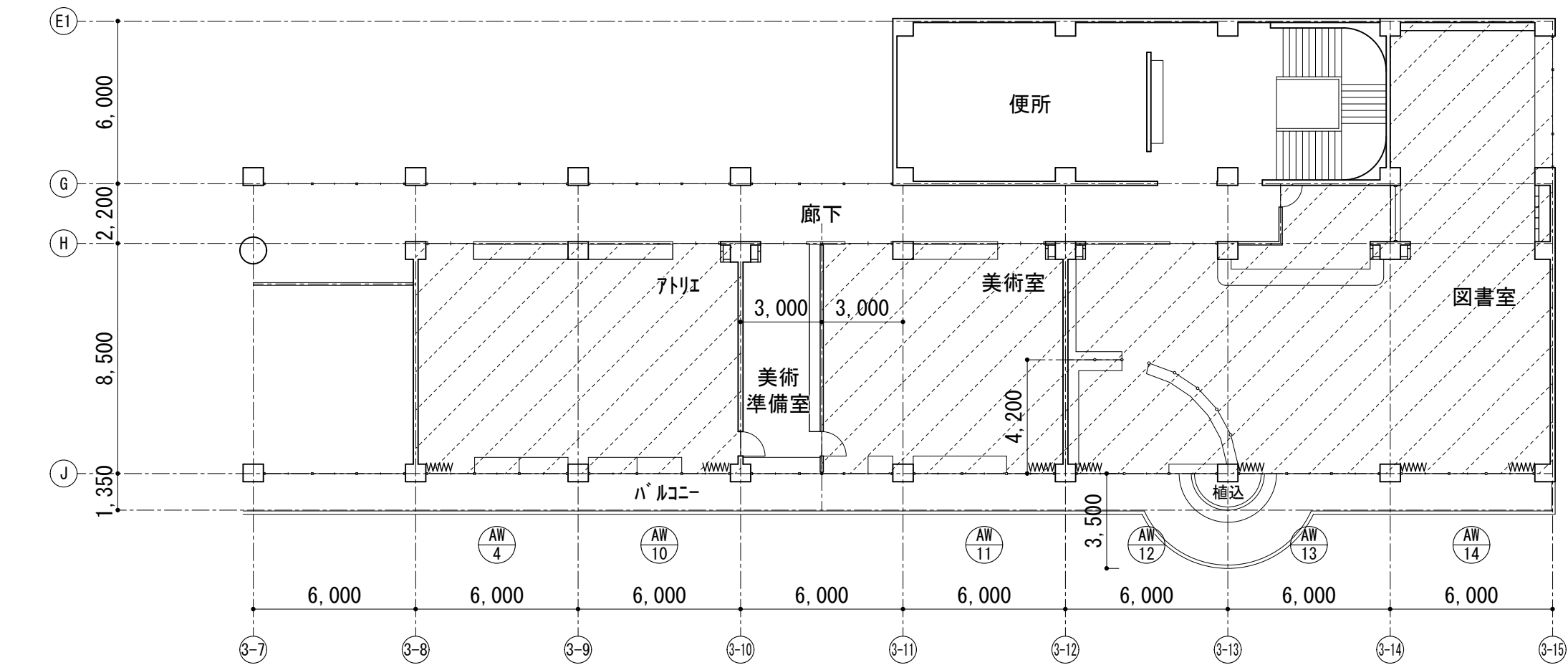
電気室仕上表

部位	仕 上
外壁	ブロック積モルタルの上吹付
内部床	コンクリートの上モルタル塗
内部壁	ブロック積モルタル塗

凡例
は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

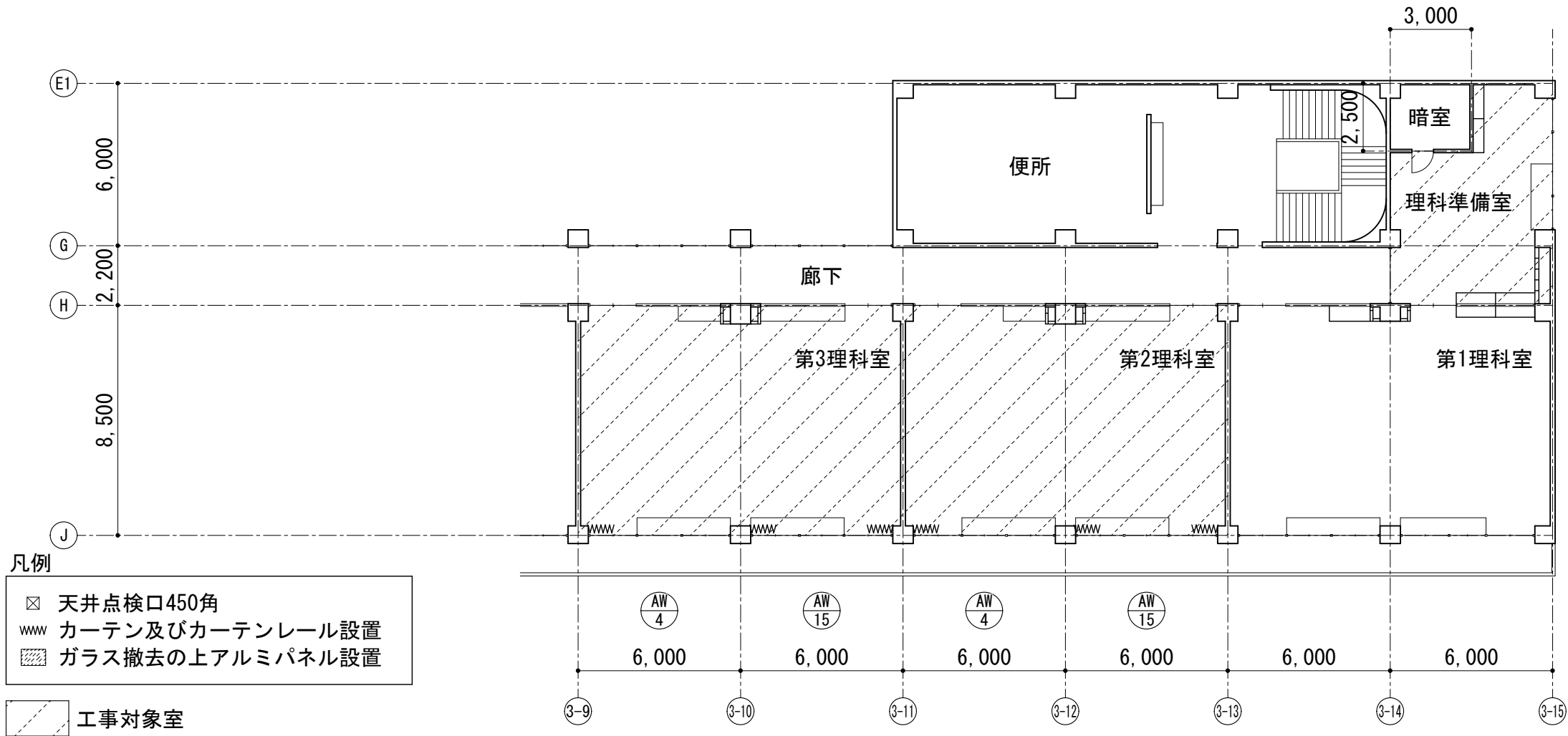


3号館断面図1/200



アトリエ 美術室 図書室 仕上表

部位	仕 上
壁	モルタルの上塗装
天井	吸音石膏ボードt9.5



3号館2階部分平面図1/200

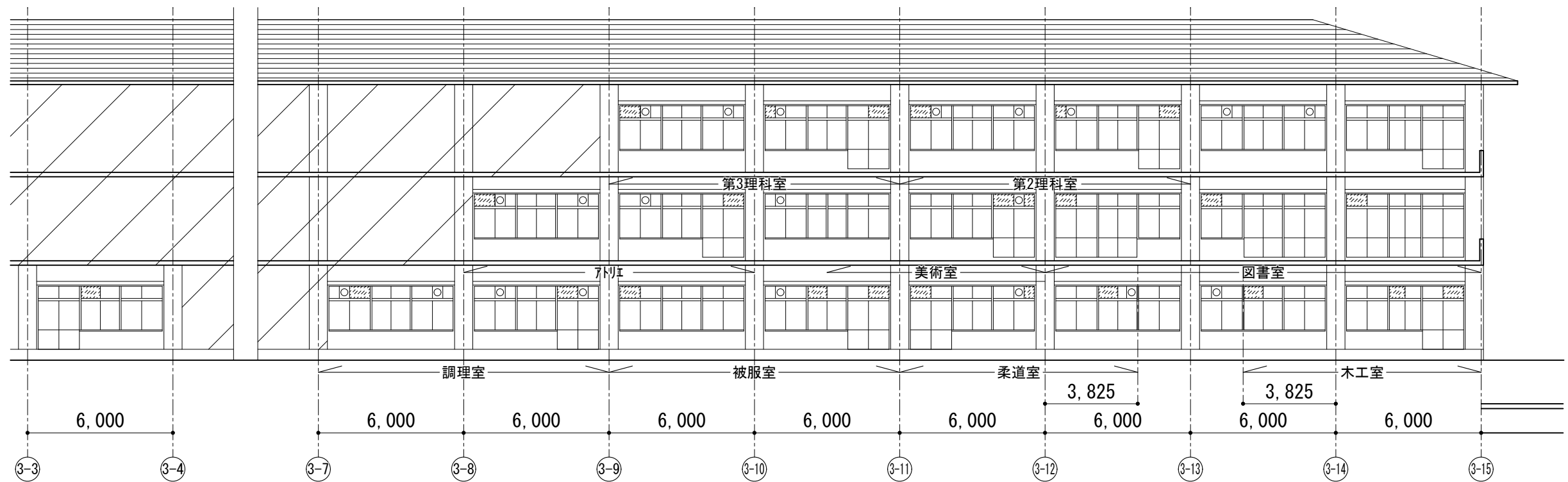
第3理科室、第2理科室、理科準備室仕上表

部位	仕 上
壁	モルタルの上塗装
天井	吸音石膏ボードt9.5

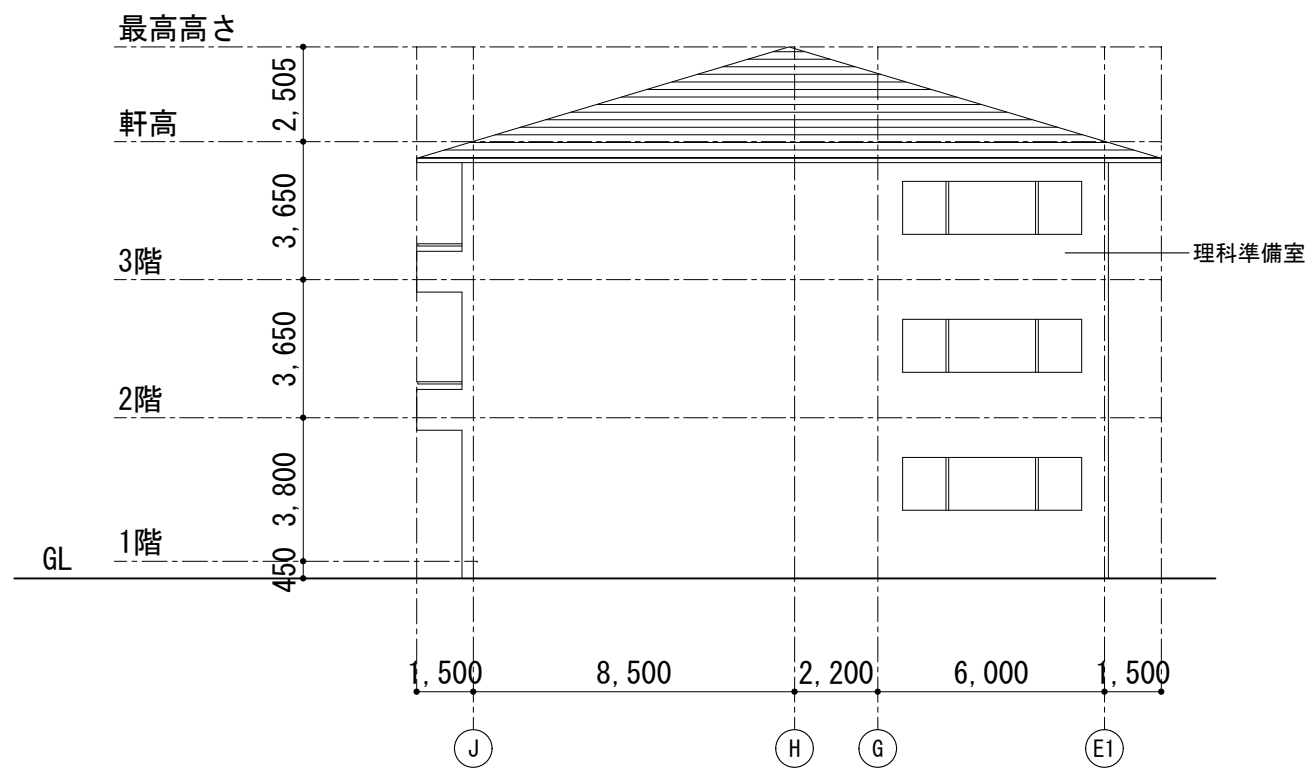
3号館3階部分平面図1/200

凡例

- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置
- 工事対象室



3号館南立面図1/200



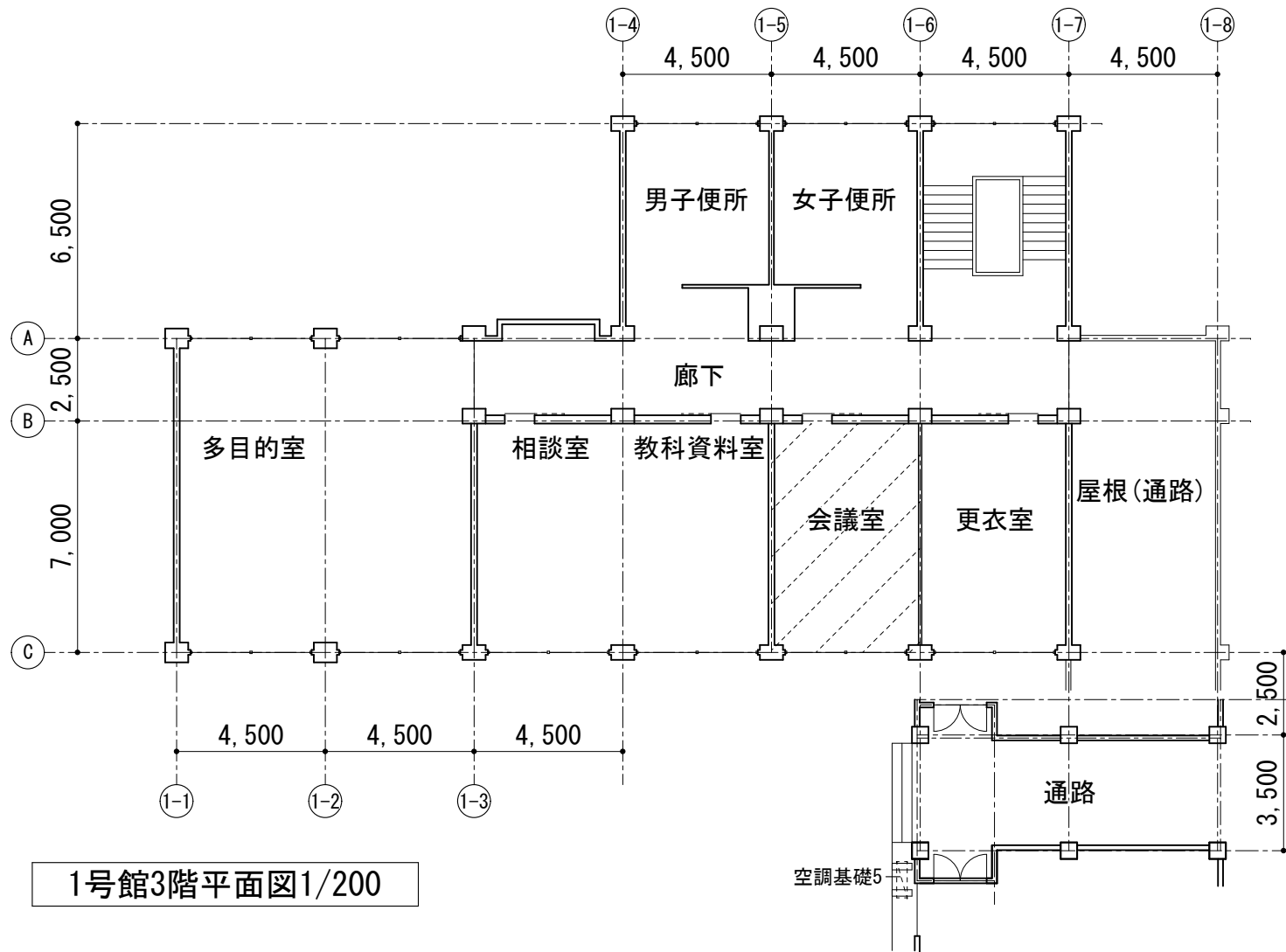
3号館東立面図1/200

3号館外部仕上表

部位	仕 上
外壁	吹付材
軒天	吹付材

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。



1号館3階平面図1/200

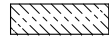
会議室 仕上表

部位	仕 上
壁	モルタルの上塗装
天井	化粧石膏ボードt9.5




1号館外部仕上表


部位	仕 上
外壁	吹付材
軒天	吹付材

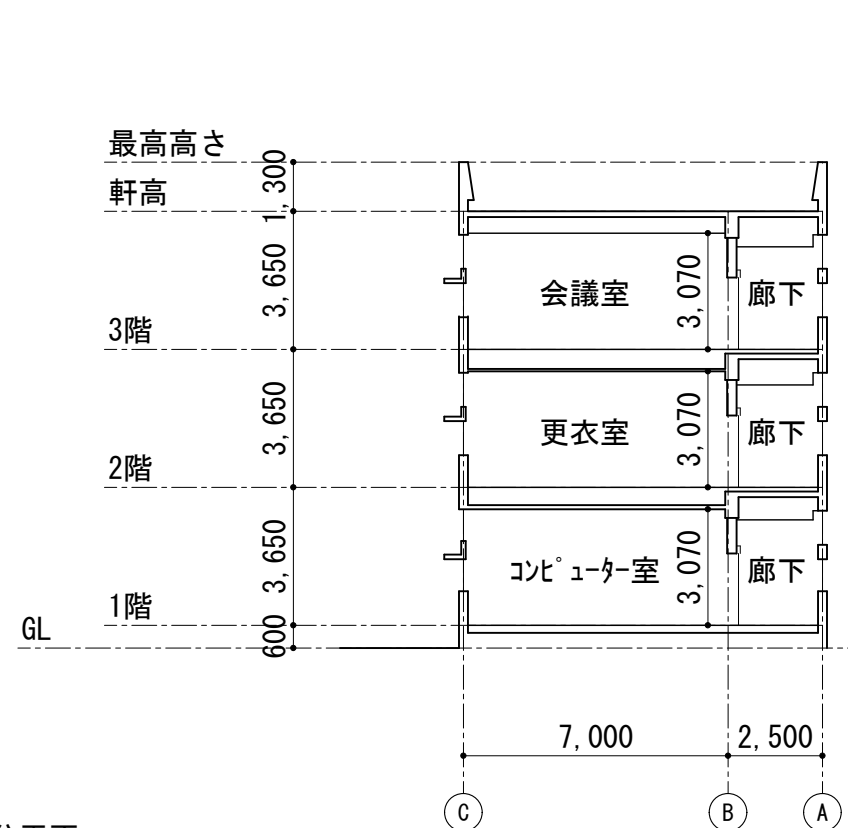
凡例

 は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。
また外壁に関しては石綿含有みなしとして同様の撤去処分を施す。

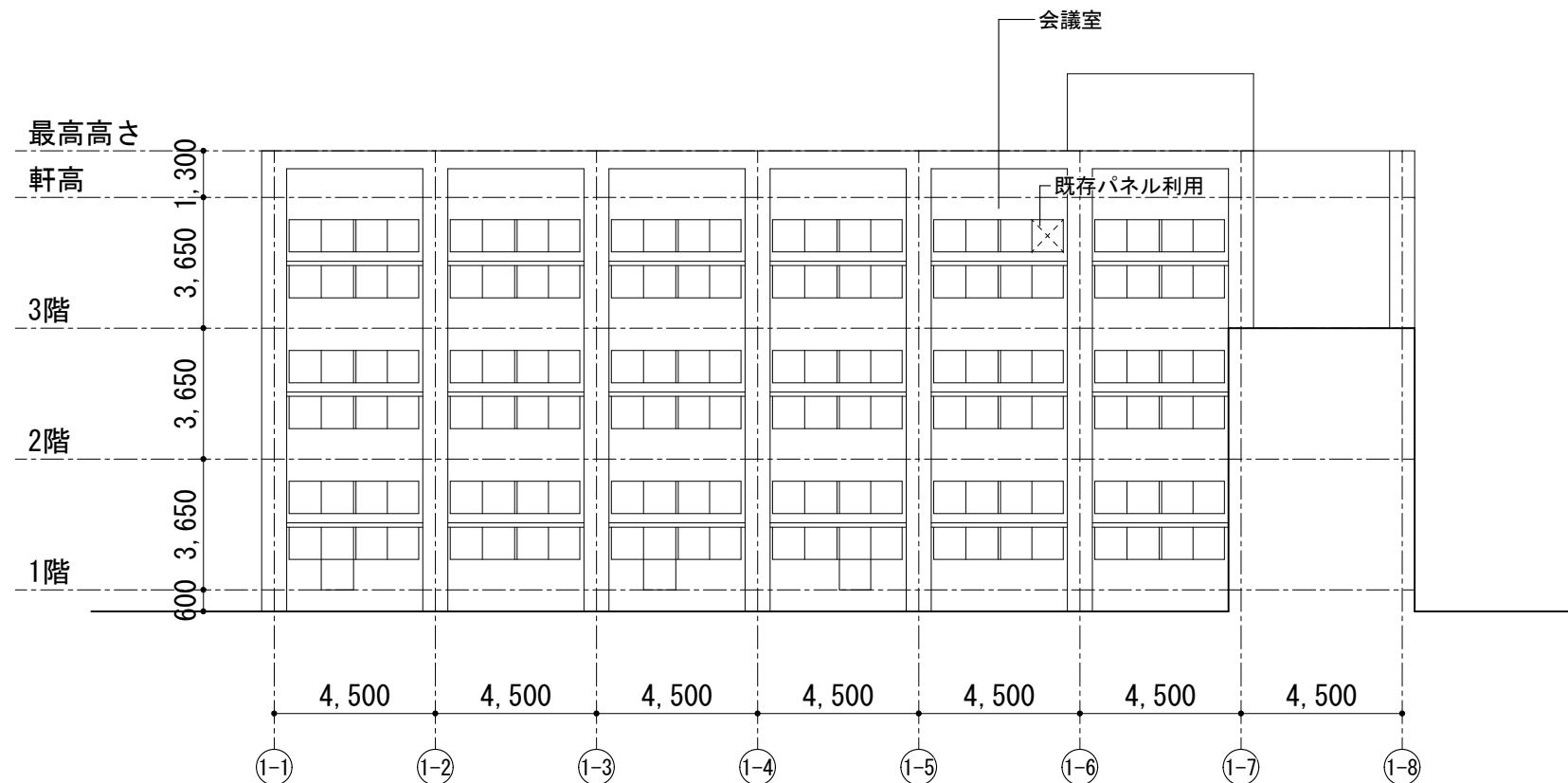
凡例

	天井点検口450角
	カーテン及びカーテンレール設置
	ガラス撤去の上アルミパネル設置

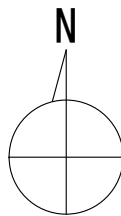
 工事対象室

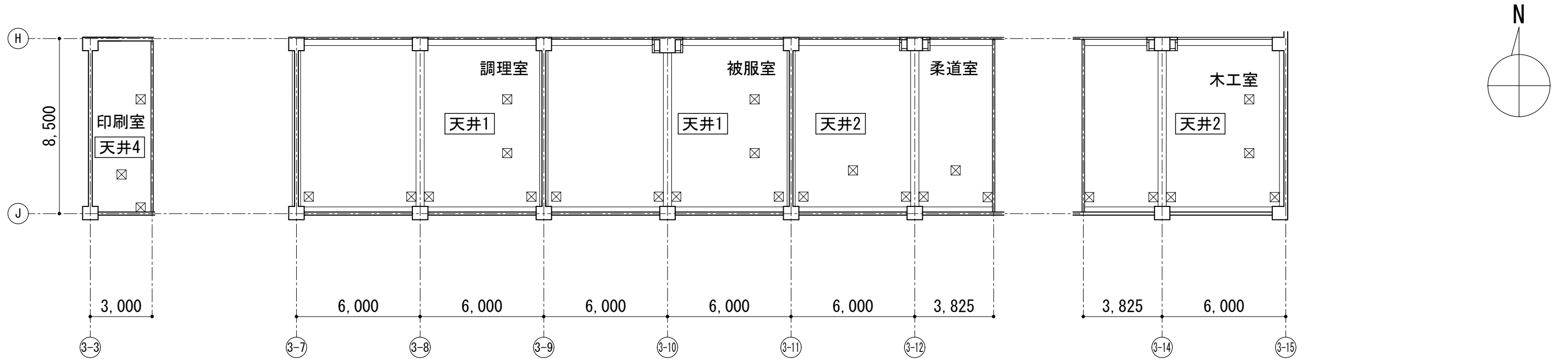


1号館断面図1/200

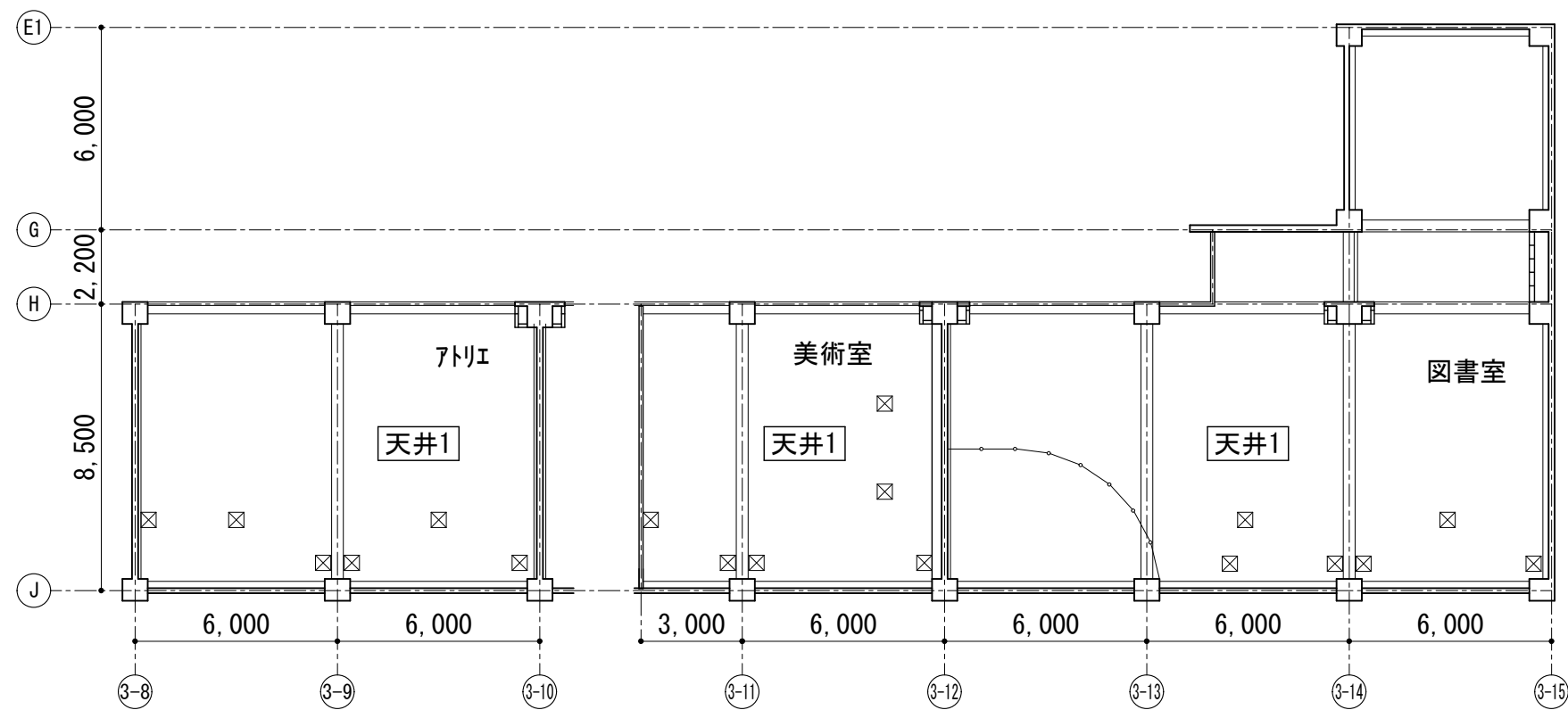


1号館南立面図1/200





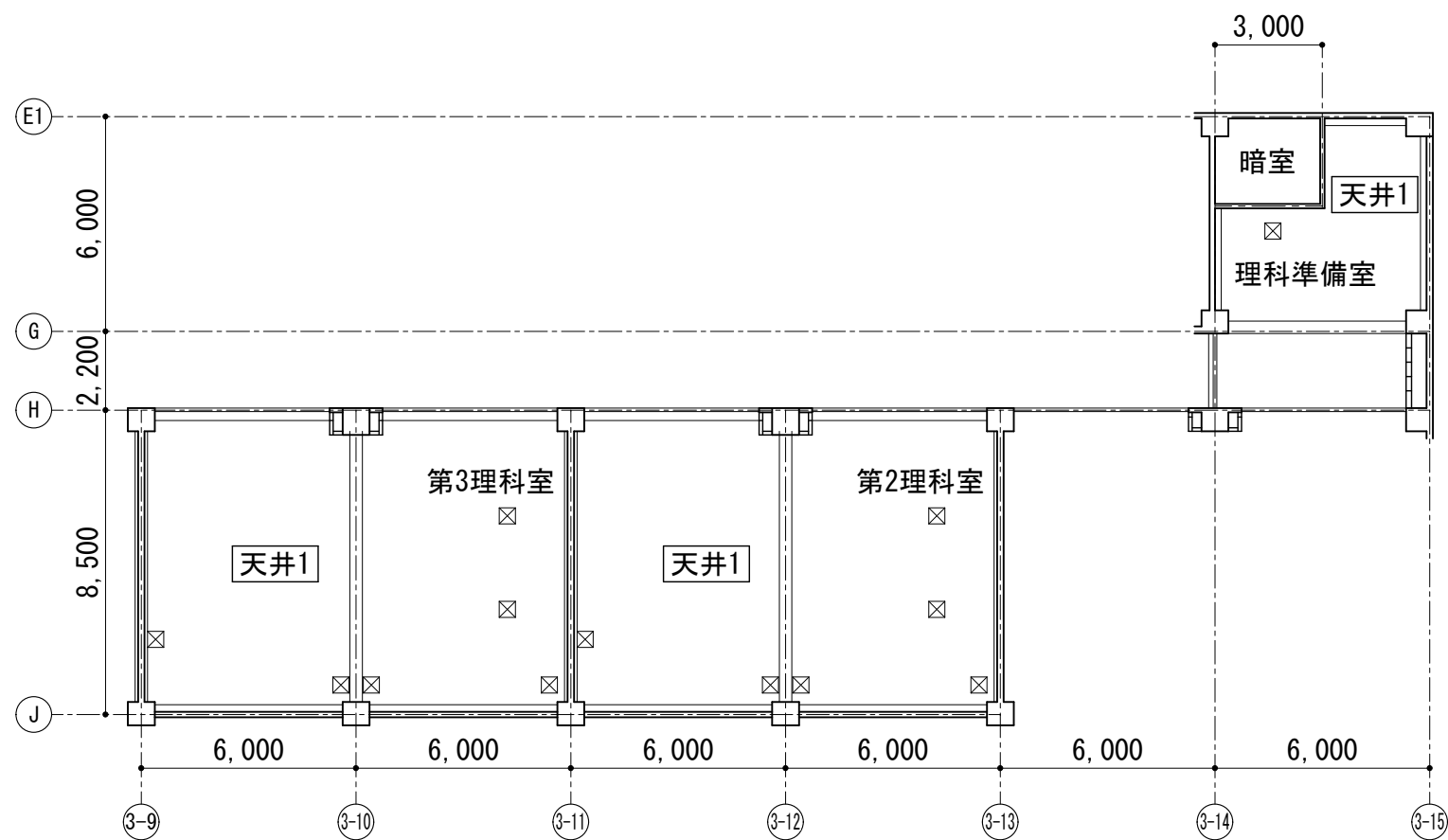
3号館1階部分天井伏図1/200



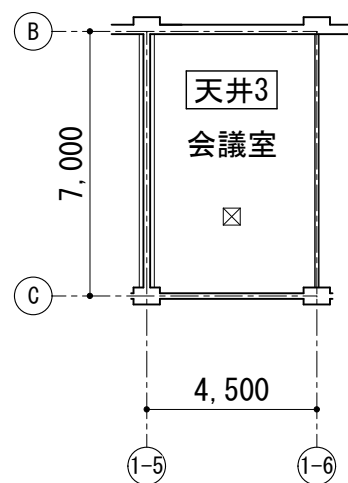
3号館2階部分天井伏図1/200

天井仕上表	
部位	仕 上
天井1	吸音石膏ボードt9.5
天井2	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)
天井3	化粧石膏ボードt9.5
天井4	吸音石膏ボードt9.5(下地石膏ボードt9.5)

- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置



3号館3階部分天井伏図1/200



1号館3階部分天井伏図1/200

天井仕上表

部位	仕 上
天井1	吸音石膏ボードt9.5
天井2	岩綿吸音板(下地石膏ボードt9.5)
天井3	化粧石膏ボードt9.5

- ☒ 天井点検口450角
- www カーテン及びカーテンレール設置
- ガラス撤去の上アルミパネル設置

符号	<div><div>AW1</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW2</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW3</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW4</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	4か所	<div><div>AW5</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所
姿図										
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
場所	印刷室		調理室		調理室		被服室、アトリエ、第2理科室、第3理科室		被服室	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去	
金物										
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	
符号	<div><div>AW6</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW7</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW8</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW9</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所	<div><div>AW10</div>アルミ製建具（一部改修）</div>	1か所
姿図										
材料	アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
場所	柔道室		柔道室		木工室		木工室		アトリエ	
ガラス	部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去		部分既存ガラス撤去	
金物										
備考	部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置		部分アルミパネルt3.0設置	
	----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置		----- 部分アルミカーテンレール（シングル）設置	
	部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置		部分カーテン及び遮光カーテン設置	

空調基礎1、2部分詳細図1/50

各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

空調基礎5部分詳細図1/50

※隣接する類似の室外機がフェンスなしのため
フェンスは設けない

各寸法は参考とし現地状況を確認・協議したもので進める。

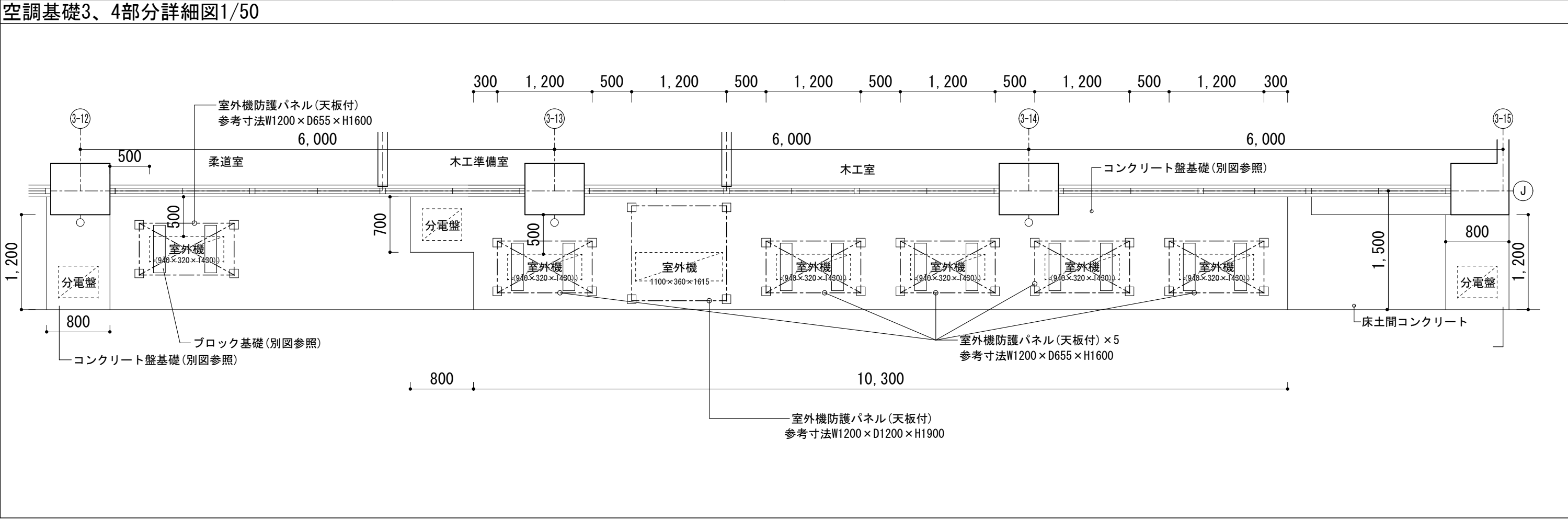
電気基礎部分詳細図1/50

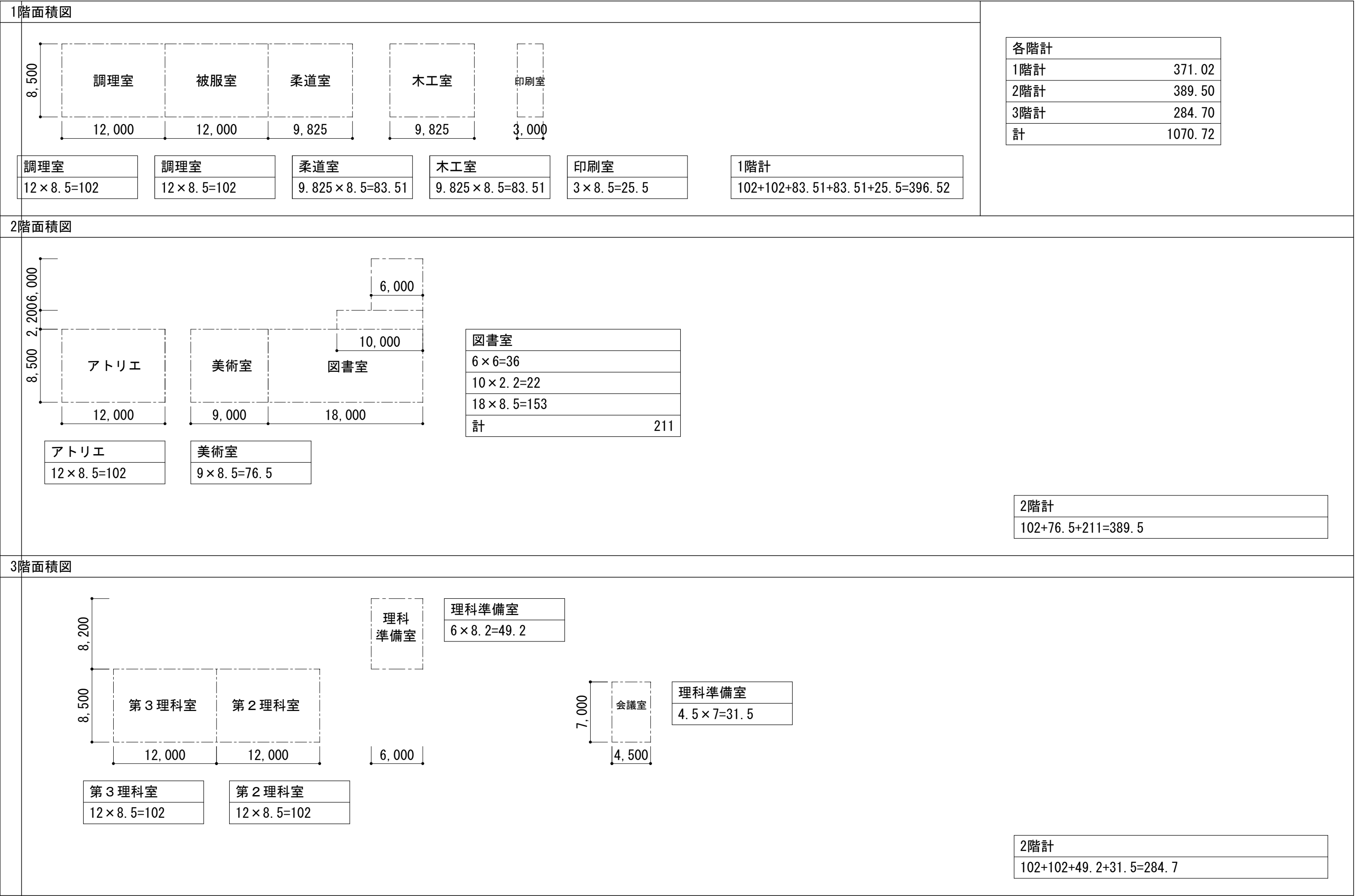
部位	仕 上
外壁	ブロック積モルタルの上吹付
内部床	コンクリートの上モルタル塗
内部壁	ブロック積モルタル塗

凡例

は石綿含有材料(レベル3)を示す。撤去する場合は適切な撤去処分を施す。

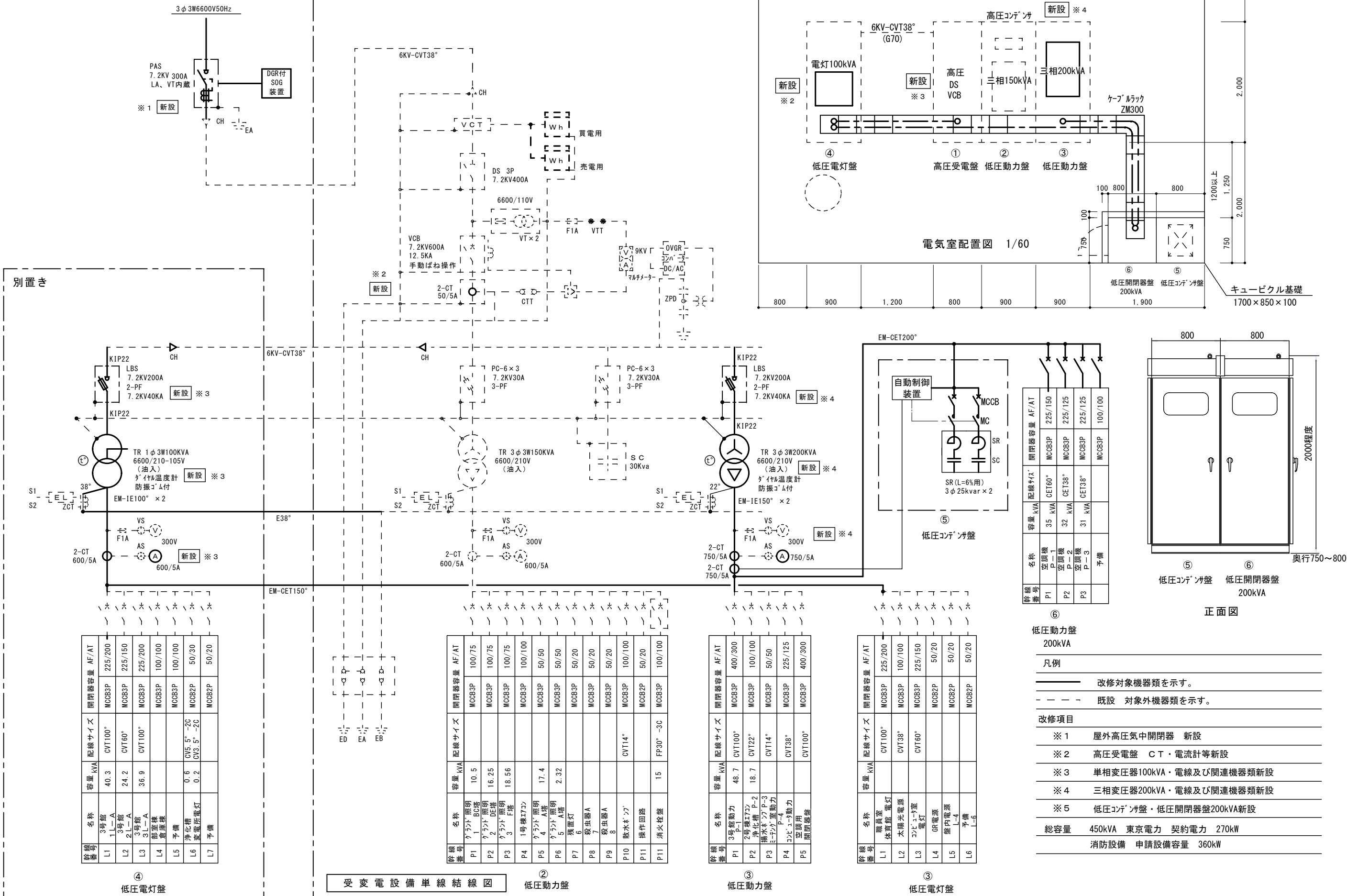
コンクリート盤基礎、ブロック基礎詳細図1/20





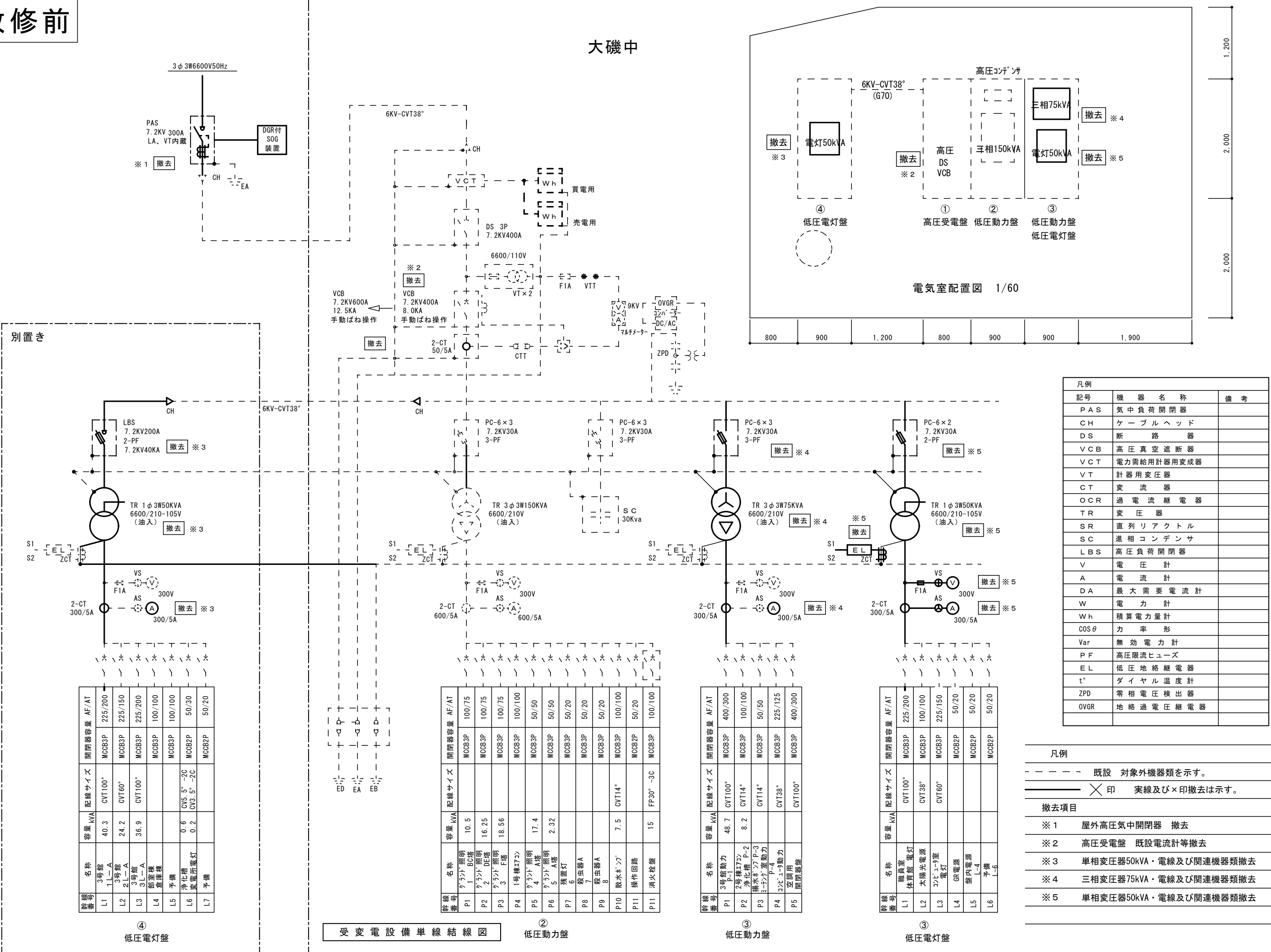
工 事 名 称		大磯中学校特別教室等空調設備整備工事		特記仕様書 (令和 8年 1月作成)																											
I 工 事 概 要		1 工 事 場 所 中郡大磯町東小磯261番地																													
		<table><tr><td>建 物 名 称</td><td>構 造</td><td>階数 (地下・塔屋)</td><td>延面積 (㎡)</td><td>消防令別表第1</td><td>備 考</td></tr><tr><td>大磯町立大磯中学校</td><td>R C</td><td>地上3階建て</td><td></td><td>7 項</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						建 物 名 称	構 造	階数 (地下・塔屋)	延面積 (㎡)	消防令別表第1	備 考	大磯町立大磯中学校	R C	地上3階建て		7 項													
建 物 名 称	構 造	階数 (地下・塔屋)	延面積 (㎡)	消防令別表第1	備 考																										
大磯町立大磯中学校	R C	地上3階建て		7 項																											
3 工 事 種 目		1) 屋内電気設備 ●受変電設備 ○発電設備 ○静止電源設備 ●動力設備 ●電灯設備 ○構内交換機 ○時計・拉声設備 ●自動火災報知設備 ○雷保護設備 ○誘導支援設備 ○呼出設備 ○テレビ共同受信設備 ○監視カメラ設備 ○中央監視制御設備 ○ ○ ○				2) 屋外電気設備 ○屋外配電線路設備○屋外通信線路設備○発電設備工事 ●接地																									
II 工 事 仕 様		1 共通仕様 1) 現場説明書、図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、次の仕様書を適用する。 国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版） 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版） 2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの 工事仕様書を適用する。				2 特記仕様 次の表のとおりとし、章は●印の付いたもの、特記事項は●印の付いたものを適用する。																									
章 項 目		特 記 事 項																													
● 一 般	1 機 材	●本工事に使用する機材は、設計図書で規定されている仕様を満足し、 環境負荷を配慮したものとする。 ○別途工事にて設ける ○設けない ○本工事に要する工事用電力、給水等の費用は、完成引き渡しまで基本料金を含め 請負者の負担とする。																													
	2 監督員事務所 3 工事用電力、 給水、その他 4 官庁手続き 5 本設電気の基本料金	●官公署等への諸手続き、各種検査などの費用は請負者の負担とする。 工事完成引き渡しまでの工事に係る本設電気の基本料金は本工事に ●含まれていない ○含まれている ○改修工事の場合は、施工箇所の調査を行うものとし、その方法・範囲は改修工事 標準仕様書によるほか、別途指示する。 構内に設けることが ○できる ○できない ●別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○改修標準仕様書第1編2.1.2によるほか下記による。 ○内部仮設足場等 (○ 種 ○ 種) ○外部仮設足場等 (○ 種 ○ 種)																													
	6 施 工 調 査	引き渡しを要するもの ○あり ○なし 特別管理産業廃棄物 ○あり ○なし 再資源化を図るもの ○あり ○なし 再資源の利用を行うもの ○あり ○なし ○構内敷きならし ○指定処分地へ搬入 ●別途指示する。 ●別途指示する。																													
	7 工事用仮設物等 8 足場、さん橋類	●別途指示する。																													
	9 発生材の処理	●設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」 （国土交通省国土技術政策総合 研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 ●地域係数（Z）は1、設計用標準震度（Ks）は下表とする。																													
共 同 仕 様	10 再資源の利用 11 残 土 処 分 12 工 事 写 真 13 引き渡し関係書類 及び付属品 14 提出書類の様式	<table><tr><td>設置場所</td><td>上層階、屋上及び塔屋</td><td>2階床以上</td><td>地階及び1階</td></tr><tr><td>標準震度</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td></tr></table>				設置場所	上層階、屋上及び塔屋	2階床以上	地階及び1階	標準震度	2.0	1.5	1.5																		
設置場所	上層階、屋上及び塔屋	2階床以上	地階及び1階																												
標準震度	2.0	1.5	1.5																												
15 耐 震 処 理	●設計用垂直地震力は、設計用水平地震力に1／2を乗じたものとする。 ○本工事にて行う（箇所） ○別途工事にて行う ○一般用電気工作物 ●自家用電気工作物 ●委託主技術者の管理 ○ ○現場に配置して工事部分の保安業務を行う ○現場に配置しない ●最大電力500KW以上の場合においても、第一種電気工事士により施工する。 ●原則として全てエコ電線、エコケーブルを用いる。 ●ブルボックスの蓋で、一辺の長さが800mmを超えるものは、原則として両引き スライド式とする。 ●隠ぺい部に設けるブルボックスの蓋のとめねじは、原則として蝶ねじとする。 ●接地が必要なブルボックスには接地端子座を設ける。 ●結露の恐れのある外壁にやむを得ずボックスを埋め込む場合は、結露防止断熱カバ ーを取付け、電線入線部はシリコン系コーキング材を充填する。 ●P F管の場合、コンクリートに埋設する位置ボックス類は金属製とする。 ○特記の無いプレート類は (○新金属製 ○樹脂製 ○ステンレス製) とする。 ●ブルボックス及びジョイントボックス等のカバープレートには印字テープ等で 用途名を表示する。 ●取り外し再使用機器は、清掃、絶縁測定のうち取り付ける。 ○屋外 ○屋内 (○図面で指定する部分 ○機械室、EPS以外の全ての部分) ●全て塗装しない ●検定付きとする ●別途指示する ●分電盤、制御盤、端子盤などに二次側以降にある配線器具等の取付位置や配管 配線の経路等は機能を優先し、監督員と協議する。 ●長さ1m以上の通線を行わない配管には、太さ1.2mm以上の樹脂被覆鉄線等を 挿入する。 ○コア抜きの前に埋設配管及び鉄筋の位置確認を行う。（○超音波 ○X線）																														
16 V O C 測 定 17 電 気 工 作 物 18 電気管理体制 19 電気保安技術者 20 施工従事者 21 電線、ケーブル 22 ボックス類	●3相 3線式 200V ○3相 線式 V ○専用接地線式とする。 ○動力制御盤内に組み込む。 ○絶縁抵抗測定用接地端子座を設ける。 ●E L C B回路がある場合は、専用の接地端子座を設ける。																														
	1 電 気 方 式 2 主 遮 断 装 置 3 設 備 容 量 4 設 置 場 所 5 変電設備の形式 6 変圧器類の形式 7 高 効 率 変 圧 器 8 自 動 力 率 調 整 装 置 9 そ の 他				1 電 気 方 式 2 副 表 示 盤 等 3 機 器 収 納 箱 4 非 常 警 報 装 置 5 自 動 閉 鎖 装 置 6 端 子 盤 7 消 防 立 会 検 査 8 そ の 他																										
	1 装 置 の 種 類 2 認 定 3 内 発 協 の 基 準 による区分 4 配 電 盤 5 防 音 仕 様 6 連 続 運 転 時 間 7 原 動 機 出 力 8 燃 却 方 式 9 冷 却 材 10 貯 油 槽 11 貯 電 機 12 積 算 流 量 計				○ディーゼル発電装置 ○ガスタービン発電装置 ○ 発電装置 ●（財）日本内燃力発電設備協会の認定品とする。 ○屋内キュービクル式 ○屋外キュービクル式 ○オープン式 始動時間 ○40秒以内 ○10秒以内 運転時間 ○普通形（1時間以下） ○長時間形（1時間超え） ○搭載型 ○別置型 ○本体低騒音パッケージ ○排気管出口 75dB 時間 原動機出力 kW以上 始動方式 ○電気式 ○空気式 ○ラジエーター式 ○ 式 ○軽油 ○ ○小出力 L L (○地下 ○地上 ○本工事 ○別途工事) (○専用 ○共用) 電気方式 相 線式 V 50Hz 定格出力 kVA 定格回転速度 min-1 ○燃料配管に積算流量計を設置する。																										
● 二 次 機 器		1 シ ス テ ム 構 成 2 公 称 出 力 kW 3 モ ジ ュ ー ル 4 コ ン テ ー ナー 5 表 示 パ ネ ル 6 計 測 装 置																													
		○系統連携型（逆潮流有り） ○系統連携型（逆潮流なし） ○系統連携しない ○自立運転機能付き（蓄電池 Ah) ○単結晶型 ○多結晶型 ○アモルファス ○その他 () 出力電気方式 相 線式 V ○なし ○あり (○壁掛け ○自立 ○LED ○液晶 ○) ○なし ○あり (○日射計 ○気温計 ○)																													
		1 電 気 方																													

改修後



改修前

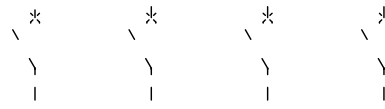
大磯中



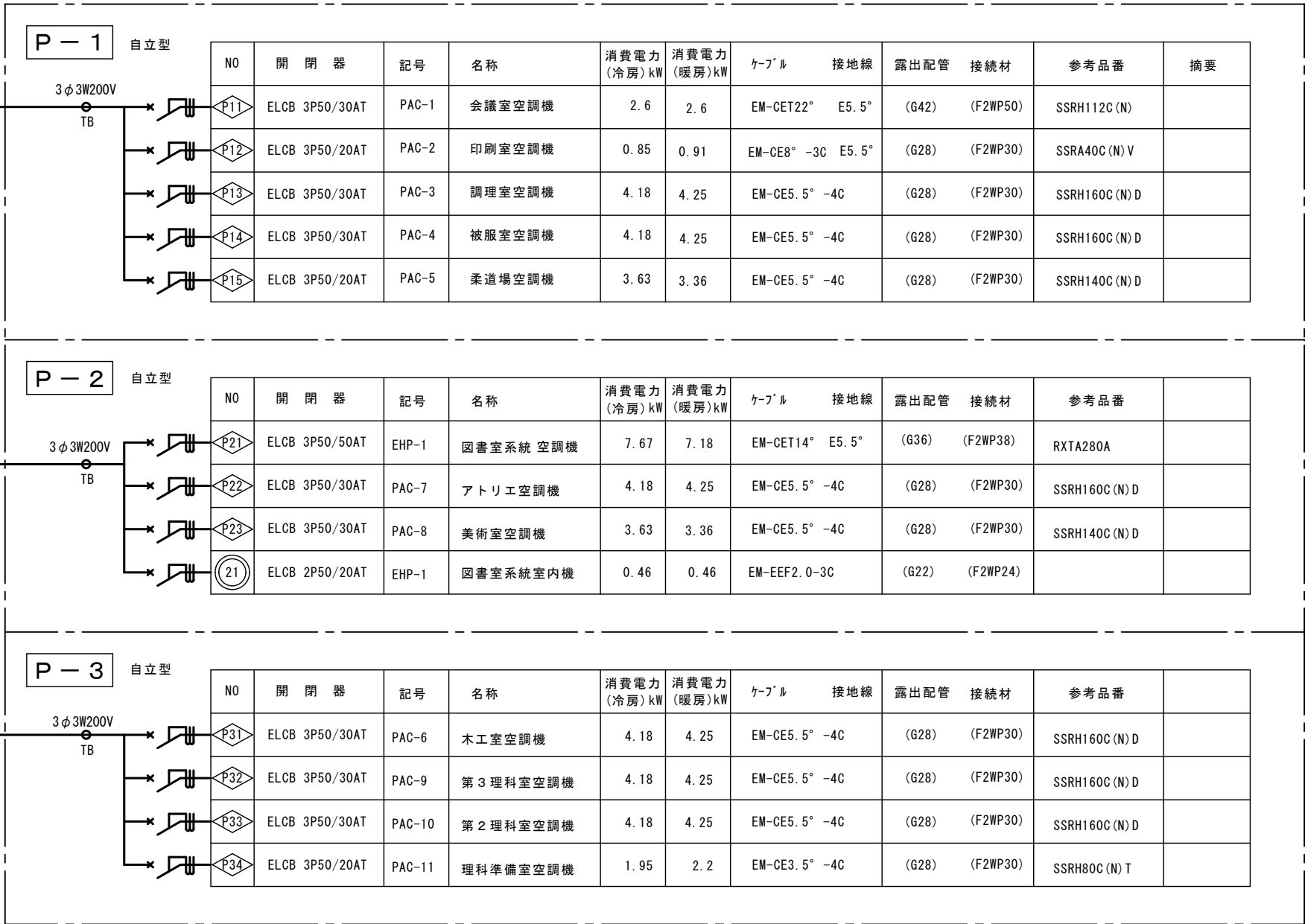
受変電設備



3φ200V



NO	P1	P2	P3	
開閉器	MCCB 3P 225/150AT	MCCB 3P 225/125AT	MCCB 3P 100/100AT	
記号	P-1	P-2	P-3	
名称	空調盤	空調盤	空調盤	
消費電力 (冷房) kW	12.66	15.48	14.49	
消費電力 (暖房) kW	12.92	14.79	14.95	
ケーブル 接地線	EM-CET100° E8° × 2	EM-CET60° E8° × 2	EM-CET60° E8° × 2	
配管	(FEP65) (G70) (F2WP76)	(FEP50) (G54) (F2WP63)	(FEP50) (G54) (F2WP63)	
摘要	計 42.63 kW 42.66 kW			



注記（各盤共通）

1. 図中記号は、下記による。



回路盤号 AC-3φ2W-200Vを示す。



回路盤号 AC-3φ3W-200Vを示す。

2. 特記なき分電盤は、屋外防水形ステンレス製とする。

3. 分電盤の塗装は、指定色とする。

4. 凡例

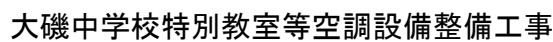
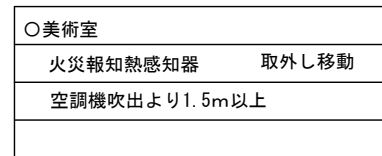
→× 配線用ブレーカー

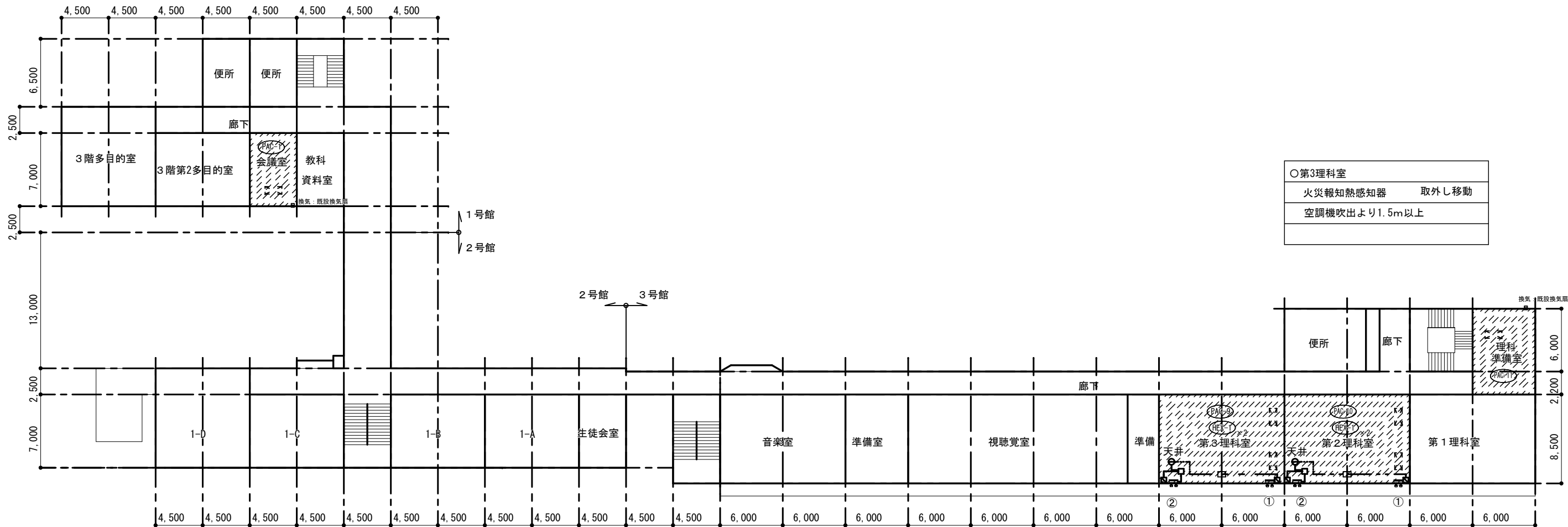
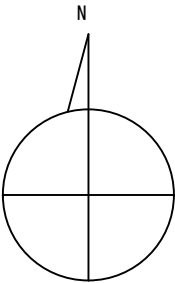
→× 漏電ブレーカー

5. E L B回路がある分電盤は、専用接地座を取付る。

6. 破線は受変電設備別図参照。

大磯中学校





○第3理科室	
火災報知熱感知器	取外し移動
空調機吹出より1.5m以上	

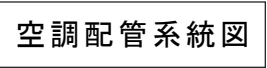
空調機器表

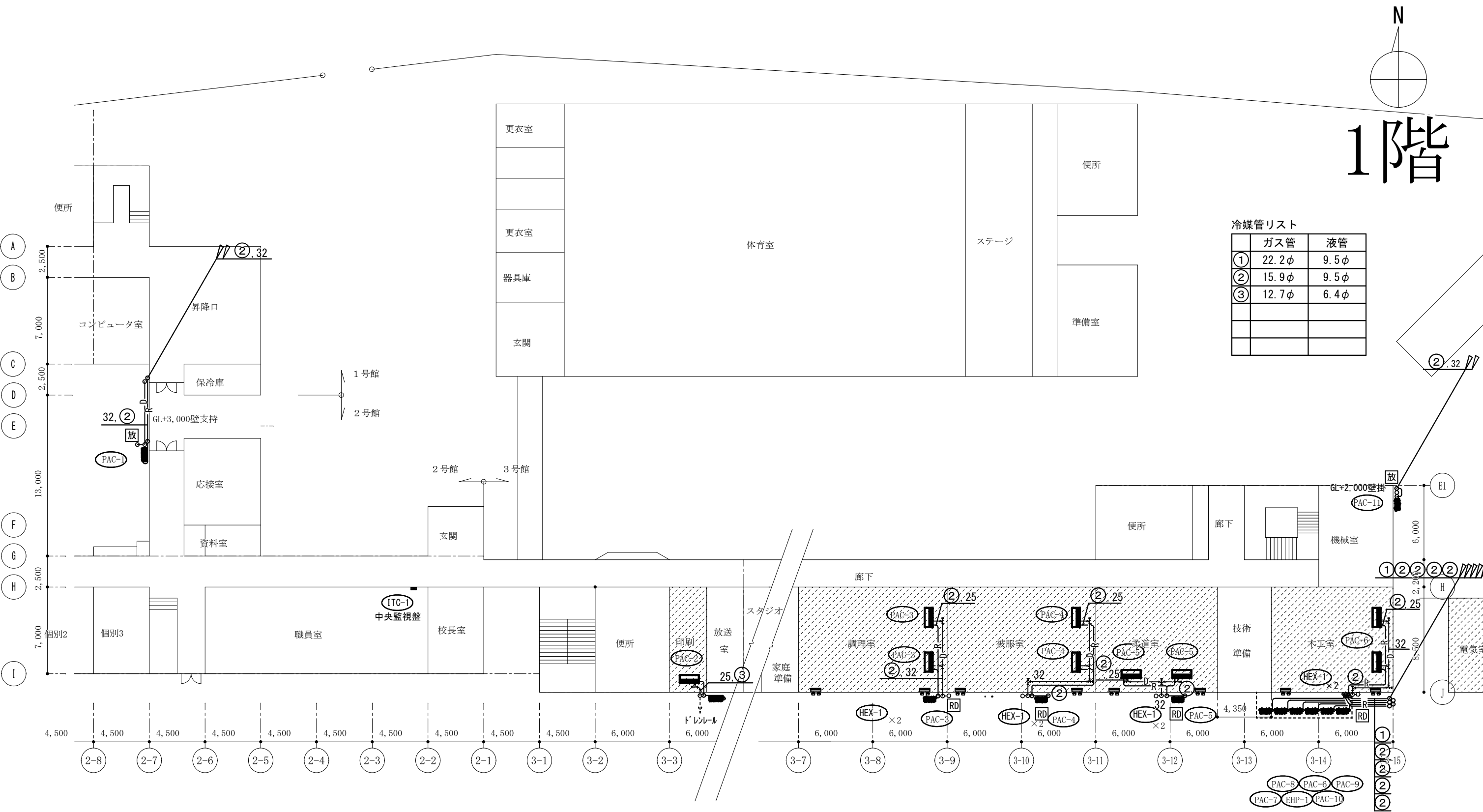
機 器 番 号	機 器 名 称 (系 統 名)	型 式	室 外 機										室 内 機										非 常 電 源	イン ター ロ ッ ク ・ 連 動	遠 方			冷 媒 配 管 ガ ス ・ 液	コン ク リート 基礎	防 振 装 置 G : ゴ L S : ア P P : ゴ M	(型 番) 備 考						
			設 置 箇 所	台 数	冷 房 能 力 KW / H	吸 込 空 気 温 度	暖 房 能 力 KW / H	吸 込 空 気 温 度	送 風 機 (下 段 フ ラ ュ イ ド - ステ ャ ト)	圧 縮 機	電 源		起 動 方 式	設 置 箇 所	台 数	冷 房 能 力 KW / H	吸 込 空 気 温 度	暖 房 能 力 KW / H	吸 込 空 気 温 度	送 風 機					ヒーター	電 源						起 動 方 式	外 気 量 m³ / h	加 湿 量 k g / h	フ ィ ル ター		
											相	電 圧								送 風 量 m³ / h	機 外 静 圧 Pa	出 力 W				φ	V										
EHP-1	図 書 室 系 統 屋 外 機	マチマルチ空調機屋外機 (塩害仕様・7ヶ所フィルター付)	屋外	1	25.0	JIS	28.0	JIS	0.26×2 6.61×1	3	200	直入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: RXTA280A相当) 1100W*360D*1615H 165kg	
EHP1-1	図 書 室 1 空 調 機	壁 掛 型 屋 内 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1	4.5	JIS	5.0	JIS	660	—	58	—	1	200	直入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: FXYAA45AA相当) 1120W*247D*295H 16kg	
EHP1-2	図 書 室 2 空 調 機	天 吊 1 方 向 屋 内 機	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	9.0	JIS	10.0	JIS	1,020	—	150	—	1	200	直入	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: FXHYA90AA相当) 1550W*690D*235H 40kg	
PAC-1	会 議 室 空 調 機 (ﾍﾞｱ型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	10.0	JIS	11.2	JIS	0.11+0.11 1.79	3	200	直入	3	1	10.0	JIS	11.2	JIS	1,440	—	150	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH112C (N)相当) 外)795W*300D*610H 41kg 内)1,590W*690D*235H 26kg	
PAC-2	印 刷 室 空 調 機 (ﾍﾞｱ型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	3.6	JIS	4.0	JIS	0.05 0.59	3	200	直入	1	1	3.6	JIS	4.0	JIS	660	—	60	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH40C (N)T相当) 外)795W*300D*610H 41kg 内)1,690W*960D*235H 10kg	
PAC-3	調 理 室 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 2.83	3	200	直入	1	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg	
PAC-4	被 服 室 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 2.83	3	200	直入	1	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-5	柔 道 場 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11 2.36	3	200	直入	1	2	6.3	JIS	7.0	JIS	1,020	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH140C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-6	木 工 室 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 2.83	3	200	直入	1	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-7	ア ト リ エ 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 2.83	3	200	直入	2	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-8	美 術 室 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	12.5	JIS	14.0	JIS	0.11+0.11 2.36	3	200	直入	2	2	6.3	JIS	7.0	JIS	1,020	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH140C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-9	第 3 理 科 室 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 2.83	3	200	直入	3	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-10	第 2 理 科 室 空 調 機 (ツイン型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	14.0	JIS	16.0	JIS	0.11+0.11 2.83	3	200	直入	3	2	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	91	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH160C (N)D相当) 外)940W*320D*1,430H 90kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
PAC-11	理 科 準 備 室 空 調 機 (ﾍﾞｱ型)	天 吊 1 方 向 屋 内 機 (塩害仕様)	屋外	1	7.1	JIS	8.0	JIS	0.084 1.29	3	200	直入	3	1	7.1	JIS	8.0	JIS	1,080	—	0.091	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: SSRH80C (N)T相当) 外)940W*320D*990H 66kg 内)1,270W*690D*235H 31kg
ITC-1	中 央 監 視 盤	インテリジェントサントロー																																	参考型番 (ﾀﾞｲﾅﾝ: DCL041B1相当)		

- ※全ての空調室内機はインテリジェントローラーに接続可能な777ブザーを付属とする。
- ※EHP屋内機には1対1で777ドット付とする。
- ※PACIには屋外機台数1台につき屋内機に1個の777ドット付とする。
- ※屋外機には「転倒防止777」を付属。
- ※空調機は公共建築仕様とする
- ※「空調機付属777フィルター」の無い機器は、「別置き777フィルター」付とする。

[illegible][illegible]

	ガス管	液管
①	22.2φ	9.5φ
②	15.9φ	9.5φ
③	12.7φ	6.4φ

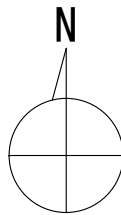




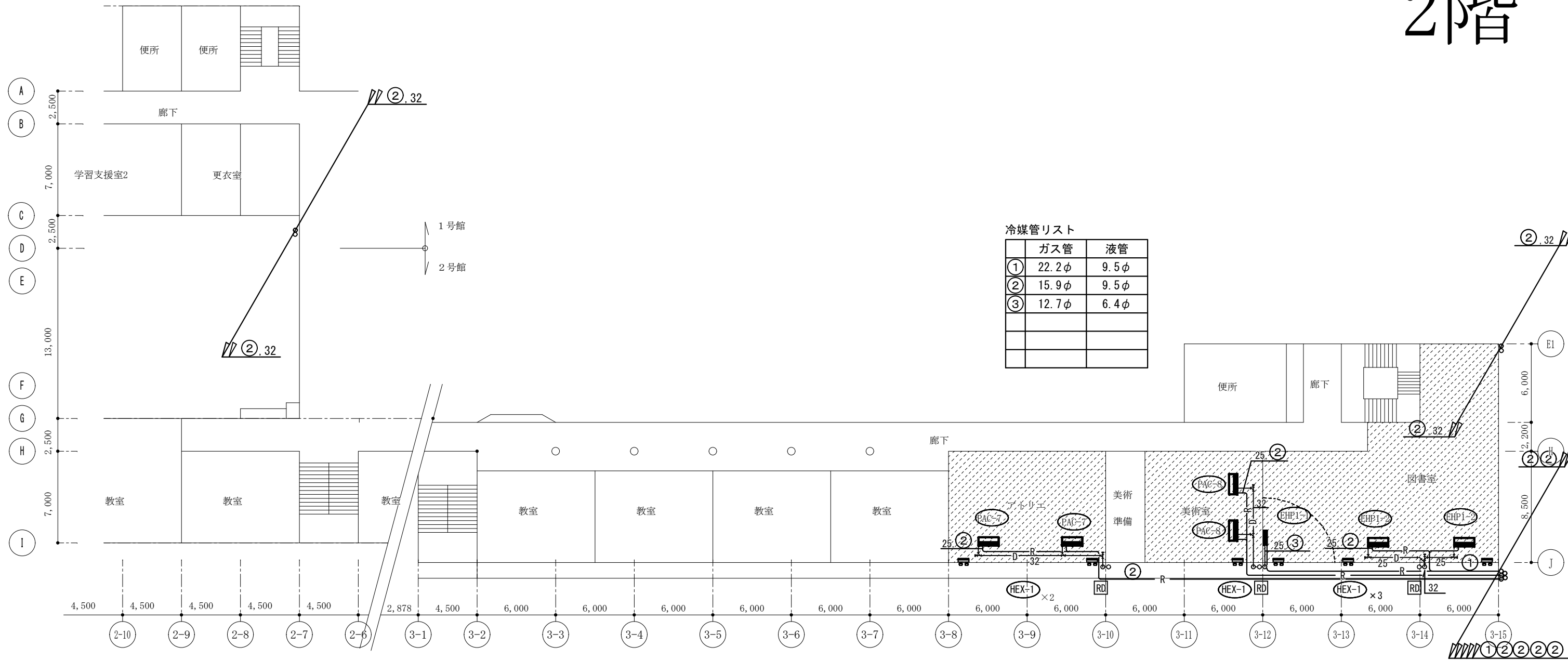
冷媒管リスト

	ガス管	液管
①	22.2φ	9.5φ
②	15.9φ	9.5φ
③	12.7φ	6.4φ

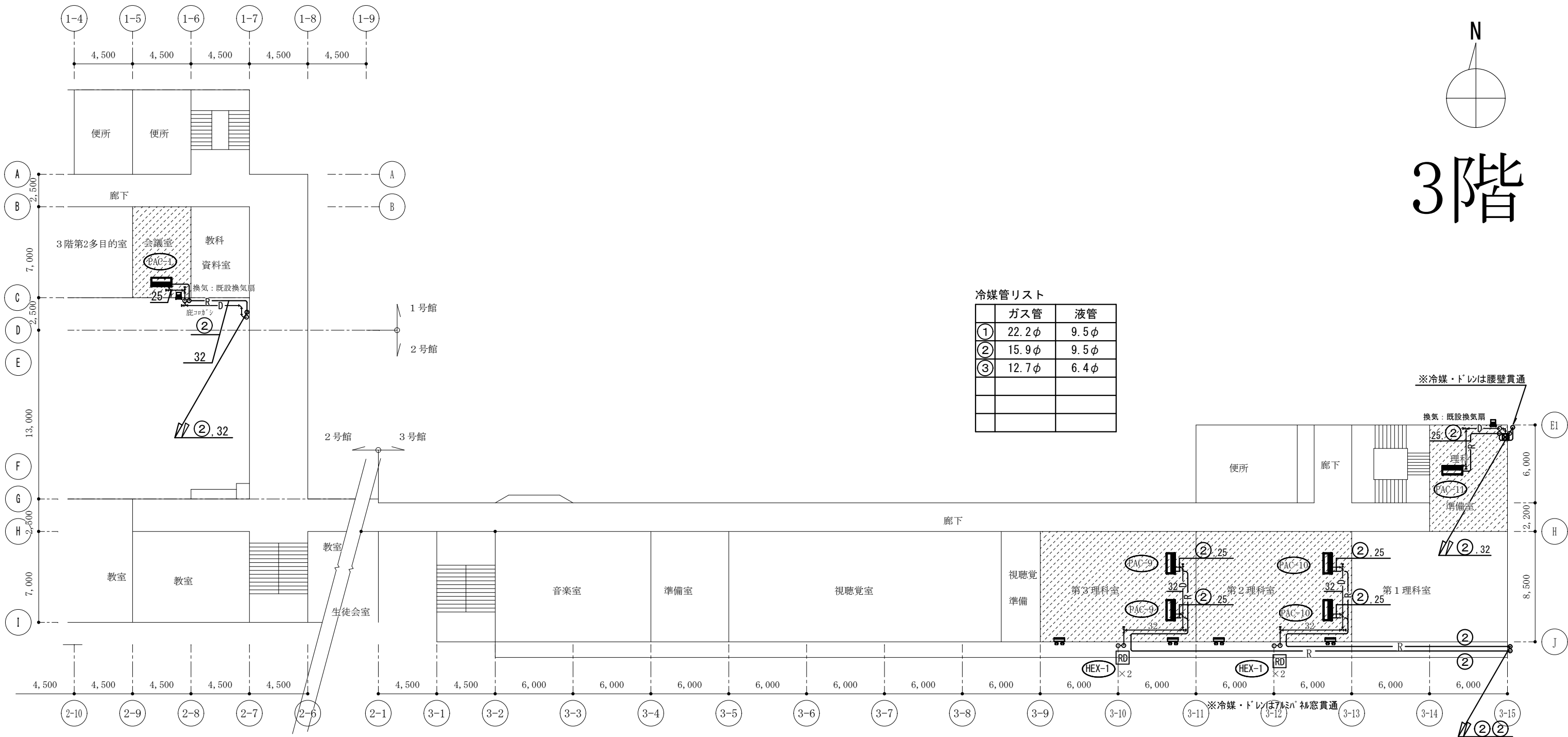
- ※：[RD] 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルフトレンへ接続。
- ※：[DL] 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け土間コンクリート部にドレンレールを設へ、放流する。
- ※：[放] 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け外部GL+100にて放流。
- ※：特記無き壁貫通部はアルミパネ窓貫通を示す。 [斜線] 工事対象室



2階



※：[RD] 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
※：特記無き壁貫通部はアルミ® 桧窓貫通を示す。

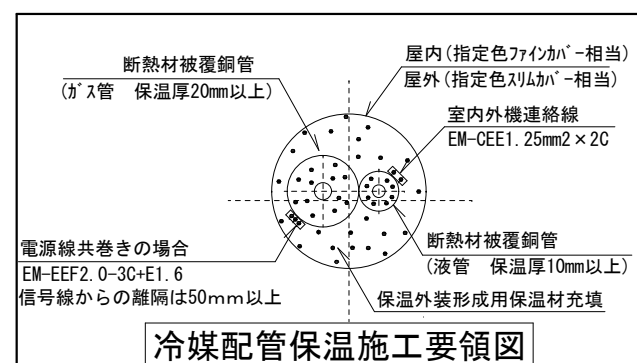
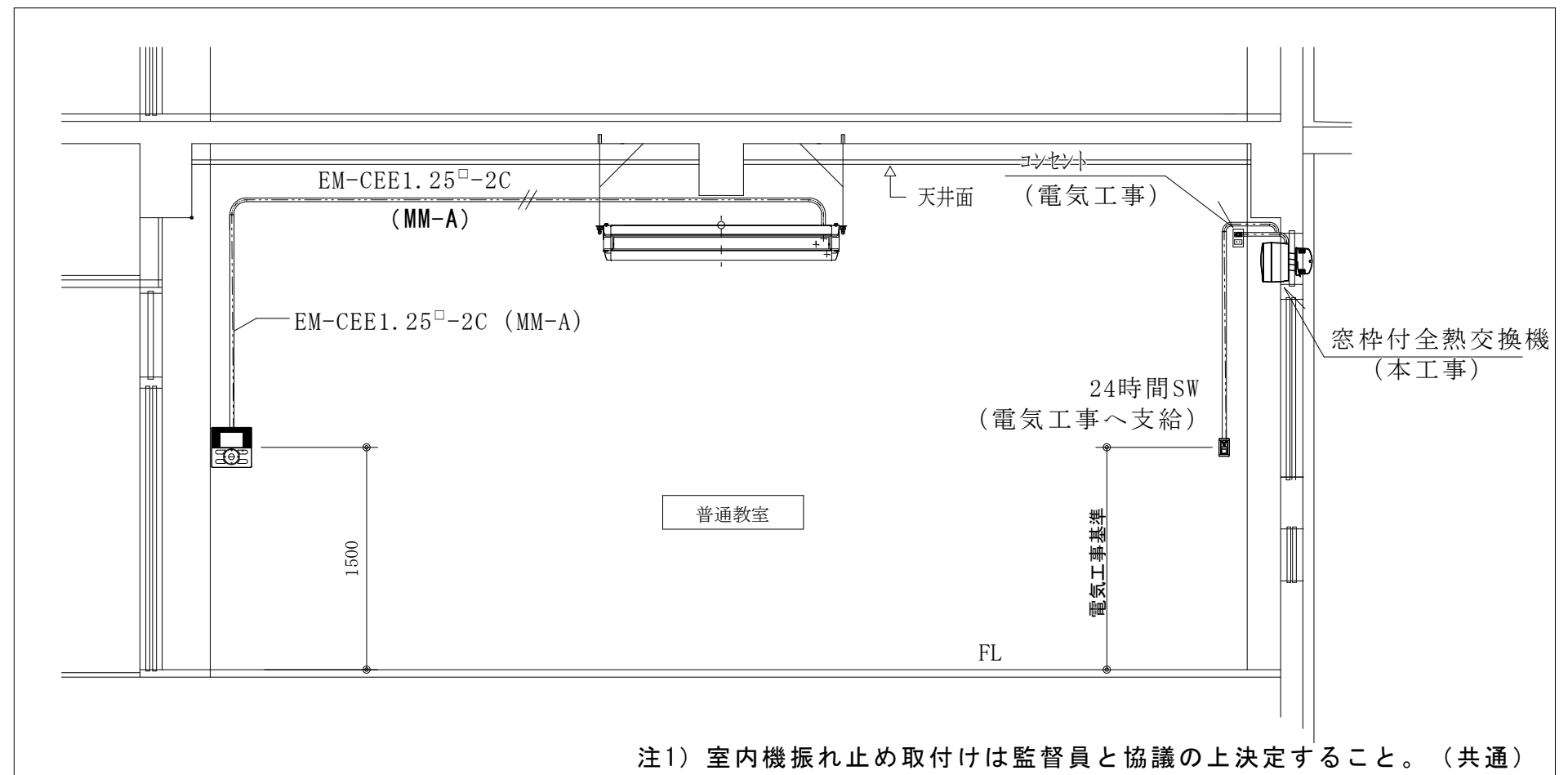
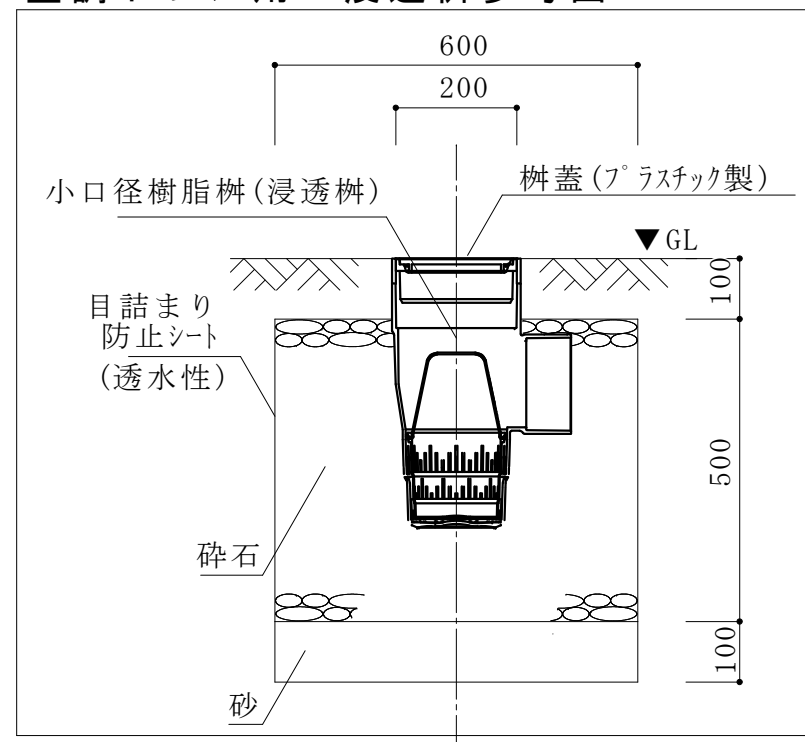


冷媒管リスト		
	ガス管	液管
①	22.2φ	9.5φ
②	15.9φ	9.5φ
③	12.7φ	6.4φ

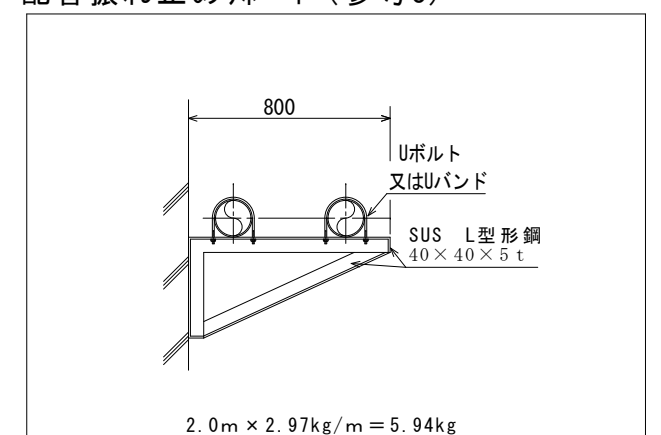
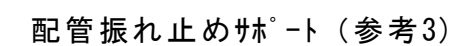
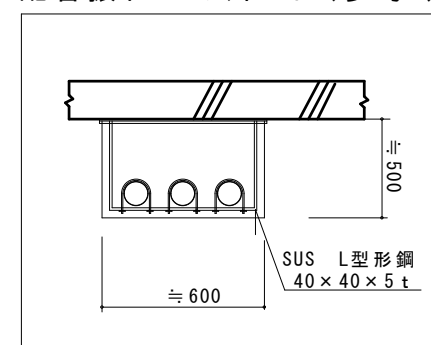
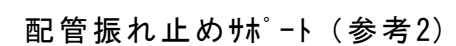
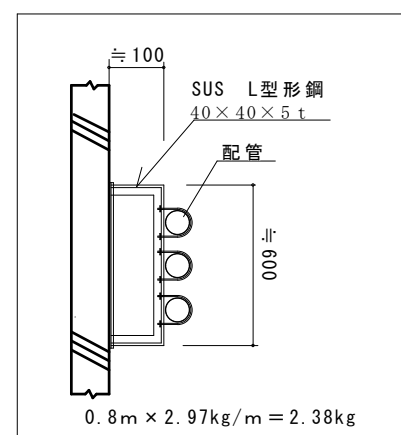
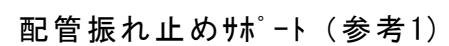
※： 部は壁スリフを示す。
※： 部はドレン末端に【ドレントラップ】を設け【間接排水口】にて最寄100φルーフドレンへ接続。
※：特記無き壁貫通部はアルミハル窓貫通を示す。

室内機リモコンSW取付要領図

※照明、梁等に近接する空調屋内機は天井から適宜空間を設け吊下げとし、支障が無ければ天井面へ隙間なく吊下げ。



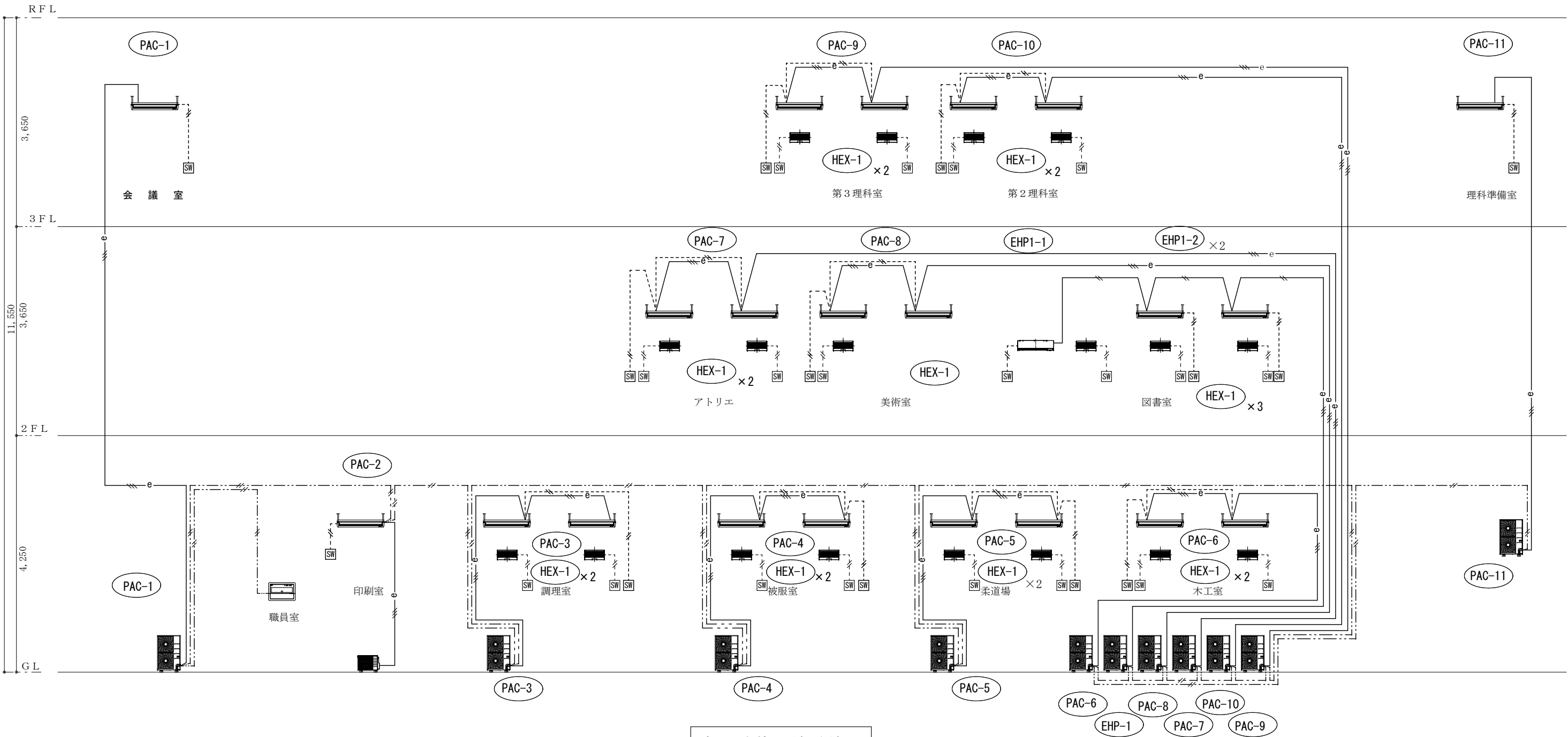
※EHPは屋内電源送り電気工事（冷媒共巻き）
※PACは屋内電源送り本工事（冷媒共巻き）



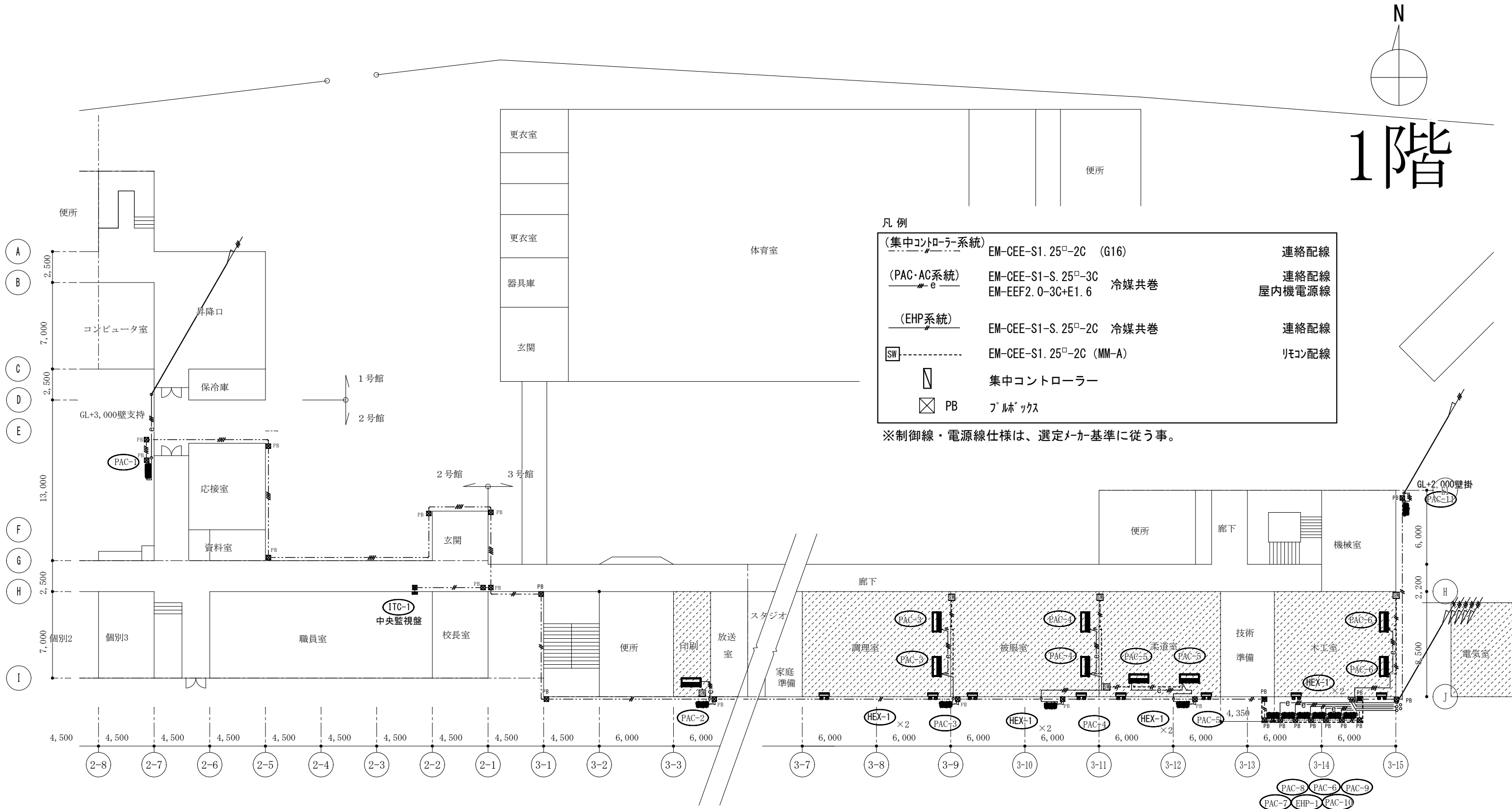
凡 例

(集中コントローラ系統) ----- e	EM-CEE-S1.25□-2C (G16)	連絡配線
(PAC・AC系統) ----- e	EM-CEE-S1-S.25□-3C EM-EEF2.0-3C+E1.6 冷媒共巻	連絡配線 屋内機電源線
(EHP系統) ----- e	EM-CEE-S1-S.25□-2C 冷媒共巻	連絡配線
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	空調機 リモコン配線 (本工事)
SW-----	EM-CEE-S1.25□-2C (MM-A)	全熱交換器 リモコン配線 (電気工事)
	集中コントローラー	
⊗ PB	プルボックス	

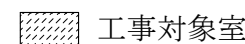
※制御線・電源線仕様は、選定メーカー基準に従う事。

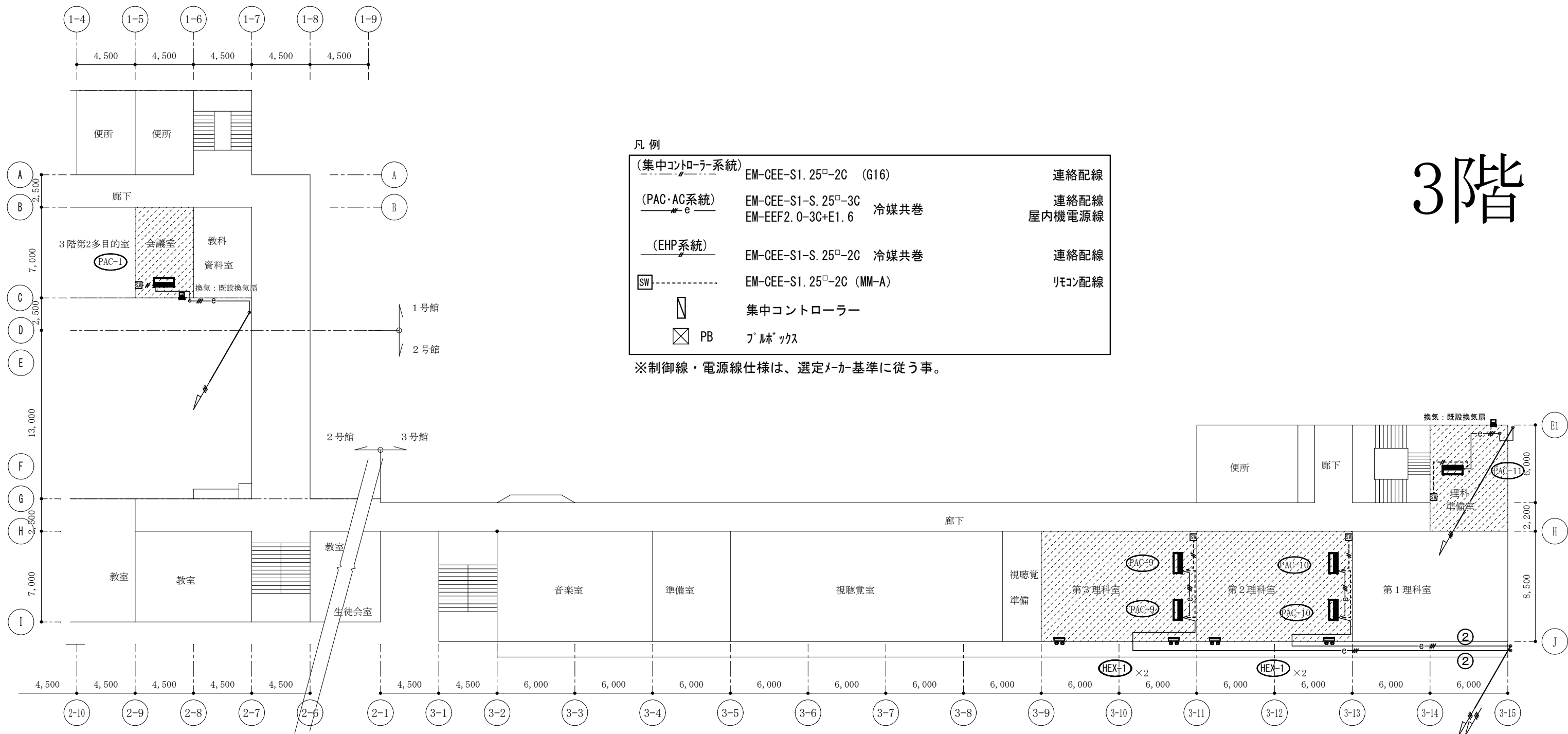


空調計装配線系統図



工事対象室





工事対象室